明治四十四年八月一日第三種郵便物認可
大正五年一月一日發行
（毎月一回一日發行）

3—495

顧問　大隈重信　會長　島田三郎
同　森村市左衛門　副會長　安部磯雄

廓清

第六巻第一號

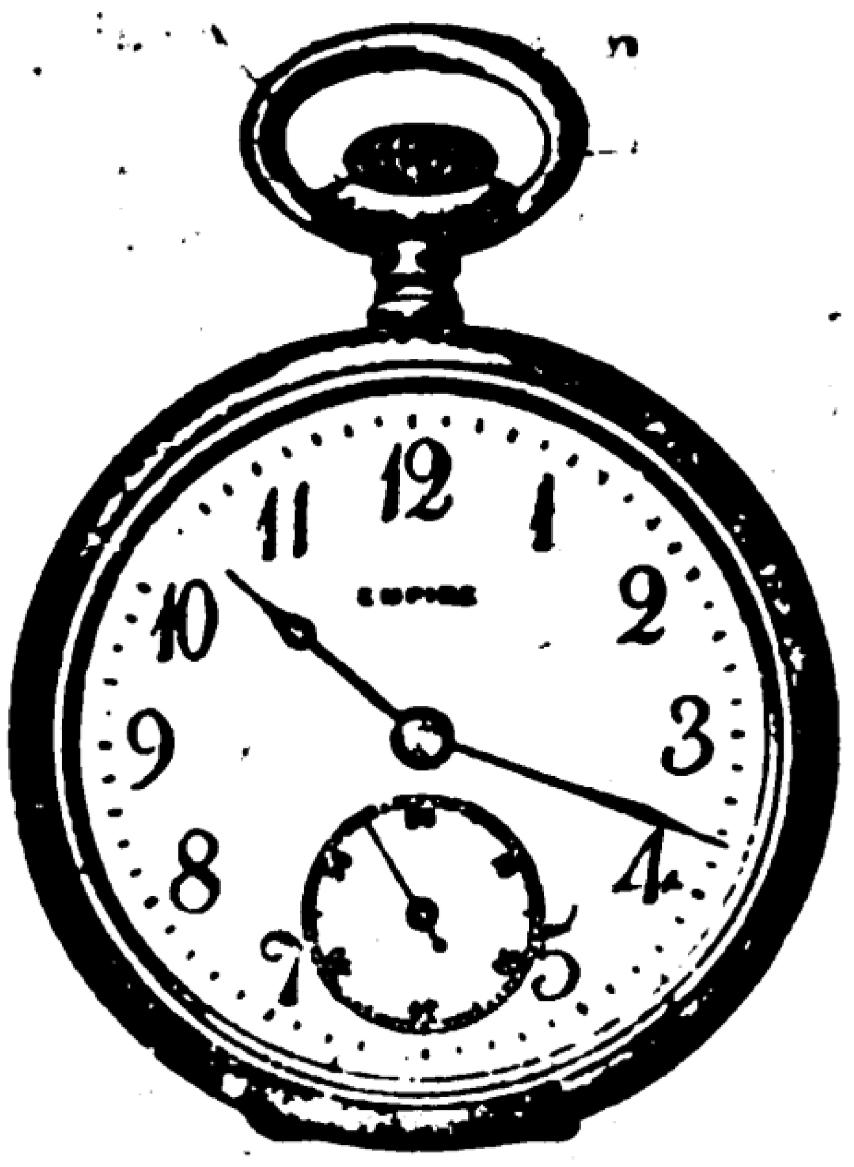
□大正五年の覺悟……安部磯雄
■結婚と遺傳……小河博士
□新年と修養……三輪田元道
■男女道徳の向上……吉岡彌生
□世界最古の倫理思想……油谷治郎七
■杜撰なる新聞記事……山室軍平
□獨逸に於ける兒童教育……三田谷啓
■配偶選擇の標準……矢島楫子
□男尊女卑と女強男弱……高島米峯
■新努力の二方面……家田作吉
□貞操の意義と價値……内ヶ崎作三郎
■自由と煩悶と……水津千雲
□兒童教養の困難……安井哲子
■廓清時言……伊藤江南
□亞米利加の婦人……海老名みや

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

精工舍

は本邦唯一の懐中時計
掛置時計製造所にして



東京大正博覧會に於て

名譽大賞牌を受領す

創業以來貳拾有餘年現今一年の
製産額五拾五萬個に達す
其製品は全國著名の時計店に在
り就て御購求あらんことを冀ふ

東京市本所區柳島町

精工舍

廓清

THE PURITY.

第六巻第壹號

大正五年一月

廓清時言

大正五年を迎ふ

大正五年は來りぬ。大正五年は來りぬ、廓清會は五度新春を迎へ、吾人は五度劍戟を磨するの機に會す。大晦日は一年の勘定日にして元旦は亦元より一年の謀を立するの日ならざる可からず、顧れば過去五年の歳月幾何の社會的貢献をなしたりしか。吾人が耕耘の地は元之れ精神界に屬するが故に、其開拓の跡は感ず可くして見るべからずと雖も、要するに理想の高峯よりすれば果して其峻坂の幾部を攀ぢ得たりしか忸怩たるなからんや。今にして既に氣息の喘々焉たる者あるが如くんばそは到底共に大事を語る可からず、吾人は新しき年の初頭に立ちて更に新しき勇を皷し、邁往又邁往、荊棘を蹂躙し險峻を踏破して、やがて來らむ此年の勘定日に徐ろに頭を回らして會心の笑ひを洩す可きを期せむ哉。

政治道德の頽敗

内閣の施政其宜敷を得ざるによるか、反對黨の政權に渇するに出づるか吾人之を論せずと雖も、要するに政治道德の頽廢を暴露しつゝある近來の衆議院内の醜態は抑も何人の負ふ可き責任なるか、蓋し黄白と情實に因はれて神聖なる選擧權の行使を誤り、吾人が切に人格者を擧ぐ可きを慫慂したるを用ひざりし當然の收穫に非ざるなき乎。吾人は帝國議會に公娼の廢止を提案せんとするや既に久矣、而も彼等磊々たる三百餘の頭顱が、國家多事の秋、徒に政權の爭奪に沒頭し、下劣なる野次を事とし、敵人の揚足取りにのみ汲々として、動もすれば熊公八公も尙面を掩ふの態を演じ、秋

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

毫の國家の爲めに國事を議するの念慮なきを見、我等の高遠なる主張の彼等によつて空しく凌辱さるゝに止まるべきを知り、提案を差控へつゝあり。吾人は切に選擧民の自覺を促し、國民を侮辱する彼等夷狄の徒を戒飭せられむ事を望む。

外國艦隊歡迎會の醜態

曠古の御大禮の一部たる觀艦式の十二月四日横濱沖に行はるゝや、之に參加したる外國艦隊を招待したる横濱市長の醜態こそは、近來になき國家を侮辱するものなりき。即ち當時の新聞紙は傳へて曰く。

觀艦式の翌五日横濱市に於て參列諸艦の海軍將校の歡迎會を開きましたが市役所樓上に於ける午餐會の席上で安藤市長が挨拶の終りに「餘公園の園遊會場には大勢の藝妓等も待つてゐますから……」と云ひました、▲この言をグッと耳に留めた米國艦隊の提督「もう時間も切迫しましたが些つと一言申上げたい事が」と云つて、市長の演説を隨分酷く皮肉りました、▲この皮肉を聞いて切齒扼腕したのは我海軍の將校等で。密かに機會の至るのを待つてゐた處、午餐會が終つて園遊會場に行くと、それとも知らぬ米國士官連は彼方此方で盛んに藝妓相手に巫山戯てゐます▲流石機を見るに敏なる我海軍の將校連、こゝぞとばかり「貴國の士官達は仲々元氣が盛んですね」と急所の一本、米提督もこれには參つたと見え「どうも若い者には何處の國でも困つたものです」と苦笑したさうです。

招待者の態度と、之を報ずる新聞紙の筆致と、噫共に醜業婦國の名に反かず、慚愧の極穴の入るべきなきを悲しむ。

少年活動寫眞館を公設せよ

活動寫眞の流行は眞に時代の驚異也。何處の活動寫眞館に行くも多數の少年が其前方を占守して熱心に觀覽しつゝあるは驚く可き事實也。彼等は如斯して流血殺戮の慘に小さき胸を躍らし、探偵物の盜賊と警官が追ひつ追はれつする處に喝采し、男女間の淫猥に可憐の眼を睜りつゝあり、これ等はやがて悉く潛在意識となり其人格を形成すべく、影響の甚大なる想像の外にありて、容易ならざる社會問題となす。吾人は今日の小兒の活動寫眞に對する感興を以てして、其觀覽を禁ずるの困難を思ふが故に、よろしく健全なる少年活動寫眞館を公設し、安んじて親達をして其子を行かしめ、進んで之を善用し教育の一助たらしめ趣味の教養所たらしめんは如何。

淺草魔窟取拂問題

今日の公娼制度が時代錯誤たるは、統計によるも明なるに庸暗なる貸座敷業者は之を悟らず、其の營業の不振に堪へ兼ねては或は賦金の引下げを請願し、或は年齡の引下げを請願する等四苦八苦の體たらくなるが、吉原遊廓の如きも其不振を淺草魔窟の跋扈に因すとなし、昨春來之が驅逐策を講じ、遂に區會を動かして最近に至り愈々實行に狂奔しつゝあり。龍虎相爭へば共に傷く、吾人は彼等汚穢屋が相共に疲弊せむ事を望む者なりと雖も、區會議員の徒が英國ならば笞刑となるべき吉原連の尻馬に乘りたるに非ずして、眞に其のいふが如く、『民人を蠧毒し社會を害ふ事甚しく、風紀衛生教育等公益に反し寒心に堪へず』と信ぜんには、同時に何故吉原遊廓の廢止又は移轉を叫ばざるかを疑はざるを得ず。

（江　南）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

大正五年を迎へて我徒の覺悟を述ぶ

早稲田大學教授
廓清會副會長　安部磯雄

□衛生と風紀の類似

烏兎匆々廓清會も玆に五度新春を迎ふる事となつた。今我我は新しき年の初頭に立ちて此一ケ年を如何に有益に過すべきであらうか、と云へば、我々はやはり前年の働きを本年も續けるといふより外はない。我々は新年になつたから新しい運動を起すといふ事は考へてゐない、何故かなら今迄我々の唱へ來つた主張がまだ決して貫徹してゐないのである。故に我々は今日迄の叫びを一層大きくして社會に徹底せしめん事を期さなくてはならぬ。

昨年に於ける我等の運動の主なるものはいふ迄もなく大典奉祝準備の廓淸運動であつた。我々は大々的に運動を行つたのであつたが、世間普通にいふ表面的には成功しなかつた。併し乍ら之は決して怪しむに足らぬのである。此問題に對する世間の思想は未だ甚しく幼稚で、充分に我々の主張を了解する域に達してゐなかつた。それを我々は肝癪を起して失望するならばそれは薄志弱行の徒で、到底社會廓淸の大任を負ふの資格はない。我々は此の結果によつて益々今日の日本に、我々の運動が非常に必要な位置にあるの確信を深くしたのであつて、一層の勇氣を奮つて邁進せなければならないと思ふ。

私は度々此問題を下水に比較して論ずるのであるが、此の形に現はれる衛生と我々の此精神的方面の風紀といふものは頗る似通ふたものがある。加ふるに其の發達の程度までが大概一樣に進むやうに思はれる。衛生の方から云へば日本の社會はまだ下水を道路の兩側に流してゐる時代である。少し氣の利いた處で蓋をしてゐる位に止まり、完全なる下水はまだ見られない、甚しきは大小便を公然街頭に引張り行く時代である。かうした體たらくであるから風紀の上に於ても吉原洲崎の如き公然營業として行はれてゐるばかりでなく、一方に於て淺草の如き私娼と唱へながら公娼と擇ぶ處なく公然下水が道路の兩面に流れてゐるが如くに害毒を流しつゝある。斯くの如く衛生上に幼稚なる國民は風紀問題にも亦幼稚なるを免れぬのである。

□依然たる社會の誤解

然るに東京に於ては漸く完全なる下水が出來やうとしてゐる、我々の風紀問題に於ても今や黎明期が來らんとしつゝある事を看取するのであるから、其心持から云へば性急にいふ必要はない。たゞ我々は一層我々の精神を明にして行きた

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

いと思ふのは、依然として斯ういふ誤解が存してゐる事で、近頃私の聞いた事實であるが、或女子の高等教育をやつてゐる教師が、生徒に向つて『廓清會といふやうな運動は愚劣極まることで、若し今日の女郎即ち公娼を廢したらそれだけの密賣淫が増加するから、今日よりも弊害が多くなるに相違ない、此事に從事してゐる會長の島田氏は私の尊敬する人であるが、斯ういふ愚劣な事を島田氏がせらるゝのは奇怪な事であり可笑しい話である』といふことを教場内で話したさうである。それで私は廓清會の主張がまだ容易に世人に了解さるゝ程度に至つてゐない事を痛感したのである。世の中の外の事は可なり分つてゐる人でも、此問題になると案外分らぬ人の多い事を、斯うした位地にある人によつて經驗するのである。此人は尊敬する島田氏が這麼愚劣な運動するのは可笑しいと笑はれたが、私は復讐的な言葉のやうであるけれども、高等教育を授けてゐる程の人がこんな愚劣な事をいふかを怪しみ憐れまざるを得ない。

私達はいつもいふ様に男女の問題を法律や制度の力で一邊に解決する事の出來ぬのは勿論である。それは本生充分に主張してゐる處であるが、それなら何を我々は望んでゐるかといふと、先にも述ぶるが如く下水といふものは道路の表面を流すものでないといふにある。下水は賣淫と共に全く除き去る事は出來ぬが、これを表面に現はさず、地の下に深く堀つて流して行かうといふのであつて、此一言に我々の主張の要點は盡きてゐるのである。これを衞生論にすると事理極めて明白で、何れかと云へば完全なる下水を作るに越した事はないといふ。それが風紀問題になると公娼を廢して密賣淫にしやうといふ意味が分らなくなるのは困つたものである。

□吉原も淺草も取拂へ

世人の第一に誤つてゐるのは、公娼私娼の解釋である。公娼といふのは吉原のやうな娼妓で、私娼といふのは淺草の賣淫婦だとする考へから、そこに非常な困難が生ずる。勿論我々の考では吉原の公娼と淺草のそれとの間には人道の上から相違がある。一方は金錢の貸借上純然たる身賣りの狀態にあるけれども、一方はそれ程でもない。自由を奪はれる點に於ても大分相違がある。從つて人道問題乃至奴隷制度として論ずれば、吉原と淺草との區別を見逃してはならぬ。併し一度人道問題をはなれ風紀問題よりすれば、吉原と淺草との間に相違を認むる事が出來ぬ。下水を道路の兩側に溢れしめてゐるに至つては即ち一である。

近頃淺草區會議員があの魔窟取拂の決議をしてゐるといふ事は、一寸考へると彼等は大變よい事をしてゐるやうに思はれる。我々も亦其精神は兎も角其事柄は贊成で、殊に公園ともあらう場所が賣淫婦の巣窟であるが如きは甚だ怪しからぬ事であるから、それを取拂ふのは結構である。けれども彼等の精神は皮肉かも知れぬが淺草退治は其實吉原擁護の爲めではないかとの疑がある。所謂敵本主義で淺草區の爲めに非ずして吉原保護の目的であるらしく思はれる。茲に至つては區會と我々の目的は全然異つて來るのである。

我々は淺草の惡いやうに吉原も惡い、兩方とも取拂つて公

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

然表面に現はれてゐるものは悉く取拂つて了ふ。人の氣のつかぬやうな暗い處に持つて行かうといふにある。無論其の暗い處では今迄同樣の不道德が行はれるであらう。それは我我は暫く忍ばねばならぬ。そこで序にいふが、これに關聯して梅毒の問題があつて蔓延の虞れがあるといふ者がある。けれどもそれは我々は專門家の說によれば五十歩百歩で、大した違ひはない。吉原でやる位のおまじないなら密賣淫としても警察の力で確にやれる。之に要する費用は多少殖へるかも知れぬが、國民は其爲めになら多少の負擔を增す位は喜んで迎へなくてはならぬ。今の日本の警察力にては、一度監獄に這入つたもの〻人相は悉く分つてゐる程であるから、密賣淫が分らぬ程の低能では斷じてない。故に梅毒の問題は議論の外に措いてよいと思ふ。

そこで始めに戻つて、不道德は同樣に行はれるとしても、表面に現はれる惡風は社會全體に及ぶが、裡面に行はれるものは弊害が一部に止まるのであつて、衛生上から云へばこれが避病院の組織である。

□會員の奮起を促す

斯樣にして一度暗い處に押込めて了へば、それから先は教育家宗教家の力で漸次に貞潔の德操を進めて行くのである。我々は決して公の娼妓ばかりでなく淺草も新橋も柳橋も、皆公に世間の目につくやうなやり方を一切止めさせ、暗い處に於てのみ行はれるやうにするといふのであるが、それを前の學校の教師は了解してゐないのである。彼等は惡事は公でも暗い處でも同じだと論じやうといふのであるから、下水を道路の兩側に流すのも東京市の今度の計劃のやうなやり方も同じだといふ亂暴な議論に陷つてゐるのである。我々は此一年間に奮鬪して、斯ういふ誤解を解き社會全體に徹するやうにしなければならぬと思ふ。

新年と修養

三輪田高等女學校長
廓淸會評議員　三輪田元道

□可愛いゝお化の必要

西洋人はクリスマスの祝ひをする、日本でも少しはあるが大體に於ては新年を祝ふ。元來クリスマスは宗教から來たものであるけれども、寧ろ一種の社會政策である。クリスマスに於ても一ケ年中の御無沙汰の詫をしたり、子供を喜ばせた

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

り老人を樂しませたりするのであつて、奇麗なクリスマスツリーを見ては喜び、サンタークロースの話を聞いては面白いと思ふ。これは社會政策である。

日本ではお化けは怖いに限つてゐる、西洋の所謂デヴィルであるが、西洋にはサンタークロースの様な可愛いお化けがある。日本には斯ういふ懷しい親しみのあるお化けがないから社會が冷かなのである。早い話が旅行をしても、人を見たら泥棒と思へといふ様な、親しむ可からざる狀態にある。此間の議會の有樣を見ると、どれもこれもデヴィルばかりで、一人のサンタークロースが無い。すぐ毆る、蹴る、着物を裂く、組打をするといふ有樣。私はも少し日本の社會にサンタークロースが出て來て和氣靄々のものにしたいと思ふ。

一體政治などゝいふものは殺風景なものではあるが、もつとコミカルでありたい。議會といふものは政治の相談所である、相談に拳固が出ては打壞しである。其意味に於てサンタークロースが出なければならぬと思ふ。

□徳川氏の社會政策

日本でも徳川時代はなかなか善く出來て居た。新年を飾らせたのも政策で、人間は一年に一度位はお祭騷ぎがして見たいものである。お祭騷ぎが俗惡なものとなつてはいけないが有益に價値あるものとするならば面白いと思ふ。能く働かせ能く樂しませるといふのは、治國平天下の要訣である。

元來松飾りは宮中にはないのであつて、將軍家だけのものである。松は末代を意味する芽出度い言葉であり、しめは天の岩窟をしめくゝりの紐といふ義で、惡魔は內に入るな、福の神は外に出るなといふ意味がある。竹は他家に通ずで、禍は自分の內に來ず他家に行けといふ處から出たと、青山延于氏などは皇朝史略に註してゐる。之れなどは決して感心出來ないけれども、要するに町を賑かにする繁榮策である。景氣つけなのである。

それから料理の獻立であるが、此頃のは怪しからぬ、國家將に亂れむとする前兆がある。お正月の獻立といふと、やれきんとんに蒲鉾鴨の吸物と云つたやうになつてゐるが、こんな事になる。賤が伏屋に住む人は厭世思想を起さゞるを得ぬ隣りから鴨のおいしさうな香ひがする、食ひたいが金がないとなると、元日早々から世を呪はなくてはならなくなる、そこで徳川氏は四海平等千里同風といふ見地から、田作に昆布午蒡に煮豆といふやうな極安い誰でもの常食にした。これなら王侯貴人より熊公八公に至る迄平等に祝ふ事が出來る。それがフライとなりオムレツとなつては、國民の一部に悲觀せなければならぬ者が出來る。そして反抗心が起り危險思想も生ずる順序になるのである。『まあお正月だお寄りなさい屠蘇一獻差上げやう』といふ時『何處樣もお正月料理で何もないが』で濟まされるのを、それが正月早々『私の處には何もありません』と縮こまらなくてはならぬやうでは新年にならない。教育家や政治家はアズ、エ、フォール則ち天下を打つて一丸として見て行かなければいけない。此の觀念の缺如せる政治家は政治家としての資格なき者である。

更に徳川氏は正月に宗教的のものを加へた。年徳神などい

ふ得體の知れないものと、大黒であるとか恵比壽であるとかいふ様な福の神を結びつけて芽出度い事にした。これは迷信のやうであるが斯様にして縁起のよいやうなものを並べ、人心を和平にそして活氣あるものたらしめた。たとへば數の子の如きも子福長者で子の多いといふ事は何より芽出度い意味がある。勝栗は人に勝つといふので武家時代としては大切な縁起である。鮑は平たく打つといふ意味があつて、鮑と栗と合せて打ち勝つといふ事になるのだから喜んだのである。斯くして飲食の末に至る迄、幸福、進歩、發展の意味を附して人心を新にし慰安を與へたのであつて、玆にまた徳川氏の宗教政策が窺はれるのである。

□虚禮無意義の年賀状

然るに今日の新年は大分變つて『謹賀新年』なんといふものが始まつた。之は全く虚禮で無意味なものである。斯ういふ事をいふと遞信省あたりから故障を申込まれるかも知れぬが、年賀状などゝいふものは寄越しても誰も碌に見はしないさうしておいて此方から遣つたのに向ふから寄越さぬのはどうしたのだらうかと、正月から餘計な心配が要る、それにまた見も知らぬ人から藪から棒に手紙が來る、或は日附を見ては向ふから先に出されたとか早く出さなくてはならぬとか始終つけ狙はれてゐるやうで油斷がならない。慰安がない。全く之れ等は遞信省の收入政策としてはよからうが國民的の政策ではない。徳川氏の大根や胡蘿蔔の尻ッぽを噛る遣り方の方がどれ程よいか分らぬ。それをやれ自分は百枚出した、三百枚出した、いや千枚出したのと威張つてゐる、沙汰の限りである。これが今日の正月の特長であるが、徳川氏の時は下女下男迄喜ばせるやうにしたものである。則ちお料理は朝一邊煮れば一日それで濟むやうなものにしてある。お餅の如きも腐るものでなく、食べる時に火にかけさへすればよいので御飯などよりどれ程簡易か知れぬ。下女下男に一體何の爲めに生きてゐるかと思はせるのは正月でいくらか奇麗な着物を着て、鞠をついたり羽子を追ふたりして遊ぶのを一年中の樂しみにしてゐるのである。然るに近頃は『お目出度う』などゝいふものがやつて來て、上つて歡談するでもなく、たゞ女中についてゐる羽子を投げ棄てさせて取次に忙殺させる。客も嘘をつくが主人も隨分嘘をつく、近縣旅行だの何のと奥の間に横はりながら女中に嘘と嘘との仲介をさせてゐる、其上さあ鴨の吸物だ、オムレツだと來た日には女中には正月が一層苦痛なものになる。

□如何に正月を迎ふ可きか

之れが近代の祝ひ方であるが、今後は明治時代の斯うした習慣を改めて、正月をもつと精神的に理想的にしたいと思ふ第一は、正月は其一年の新しい生活の門出であるから理想を新にする事にしたい。性癖の悪い人は今年から高い理想を掲げて之を矯めるとか、怠惰な人は今年から精力主義で行くとか議會の拳鬪も今年から止めにして好個の紳士たり、立派な政治家としての理想を歩むとかいふ風に、理想を樹立するの日たらしめたい。

第二には改良の時機たらしめたい。世間には個人的にも社會的にも改良すべき事が多々あるが、機會といふものと意志とが適當に結びつかないと實行は出來ないものである。正月から始めやうとか、正月から止めやうとかいふ風になると實行し易い。譬へば煙草の如きも元日から止めやうといふと止められる。或人は御大典を機會に煙草を止めたといふ事であつたが、また或人は反對に御大典を機會に煙草を始めたといふてゐた。それは專賣局は御大典記念に『八千代』といふ煙草を賣出したからだといふのであつた、實はこんな衛生上に害のあるやうな惡習慣を、こんな機會に始めるなどは甚だ取らざる處である。冠婚葬祭すべて虛禮を廢し、改良の第一歩を踏出す事にしたいと思ふ。

第三は、お正月は三日なり五日なり休みがある。此休みを利用して修養になるもの、或は宗教に關するもの、又は文學に關するもの、何でもよいからさういふものを三頁でも四頁でも讀む事にしたいと思ふ。平生は讀みたいと思つても俗事に逐はれて讀めないものである。お正月に餅を食つて酒を飲んで寢てゐる暇に、文學でも、宗教でも、修養書でもいゝから一寸手を觸れる事に於て、新生活に入るの一階梯たらしめたいと思ふ。

之を要するに修養の方面から正月を觀れば色々あらうけれど、私は正月から悲觀をするやうな事をさせたくないと思ふ。お詫をするやうな事をしたくない希望を持つてゐる。年賀狀の如きは大概新年早々にお詫であるが、こんな態度が私には面白くないのである。

其他社會の風俗習慣は、本年は斯ういふ事を實行したいとの希望を抱きたい、昨年は藝妓行列で失敗した。識者がそんな事をするなといふのを聞かないで、馬場先門外迄も練り出したからで、あゝいふ事を忘れないで政治上にも風俗上にも改めたい事は正月から計劃を廻らして、進歩して行くやうにしたいと思ふ。

つまり私は徳川時代の正月のしかたは、社會政策が加はつてゐると見て敬服してゐるのであるから。大正の今日進歩した完全な理想を懷き、正月を無意味なものたらしめず、精神的に意義あり價値あるものたらしめたいと考へてゐるものである。殊に社會のあらゆる不道德を廓清するの抱負を以て立てる廓清會員諸君の一考を望む。

人肉嗜食を事とする國では、人を見れば吾が餌だと思つて居る。斯ういふ國で、人は其高尚な價値を失つて平凡になるから、文明は育たない。けれ共世には趣を異にする人肉嗜食人種がある。外見は左程甚しくないが、其の實はもつといま〳〵しいものである。吾等は文明國に唯肉慾ばかりの者だと思はれてゐる人あるを知りて居る。彼等の立場で賣買され、其價は只其肉で定められ、そして始終機械扱ひにされたり、金儲の用に供せられたりして居る。斯くの如く吾々の貪慾、肉慾、快樂の愛は人間を最低價値のものとして居る。これ大なる自己詐僞である。吾等の慾望は、人間の裏にある眞理を視るの明なからしめる。これ人間が自ら自己の靈魂を犯した最も大なる罪惡である。其は我々の意識を殺す、卽ち少しづゝ行はれ行く精神的自殺である。其は文明の身體に見苦しい腫物を出させ、娼家が起り、戰鬪復讐の法典が出來る。――タゴール――

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

世界最古の經典に現はれたる倫理思想

廓清會理事　油谷治郎七

（一）ハムラビ法典の發見

此頃は新智識とか新傾向とかいふと、冗らないものでも一生懸命吸收しやうとし、其流れの渦の中に投じなければならないやうに思はれて居る。今私が最も古いものを掘出さうといふのは、一見時勢に不似合のやうである。併し乍ら近頃大流行のタゴールの如き、基督の生れる千年も前の吠陀とか烏婆尼婆度に云つたものを新様に說いてゐるに過ぎぬ。即ち三四千年前の印度思想を今頃新しがつて騷いでゐるのである。私の話は別段奇拔な卓見がある譯ではないけれ共、世界最古の法典を掘出して、聊か現代を評して見たいのである。

世界最古の法典といふのは、羅馬の十二表の法典であるかといふと、そんな新しいものではない。然らば希臘のソロンの法典かといふに、まだ〳〵古い。ソロンの法典は基督の生れる六百年前の事であるが、私の語らんとするのは佛蘭西から遣はされてゐたド、モルガン氏がバビロンのスサに於て、一九〇一年の末に地中から掘出し、一九〇二年の中頃佛文に飜譯されて世界に現はれ、更に英獨伊等諸國語に譯されたハムラビの法典である。

此法典は基督降誕以前二二五〇年の昔、即ち紀元一九一五年を加ふれば約四千年の古への法典であつて、之によりて此太古の時代の道德法律を窺ふて見るのは人文發達の上から甚だ興味ある事と思ふ。此法典は今日の所謂民法及び刑法を總括したるものであつて、其うちに倫理上の教へを含んで二百八十二條から成立つてゐる。

史を繙いて見ると亞述帝國興隆の前、ユーフラテス河畔にバビロンといふ國があつた。其初代王朝の王の中にハムラビといふ英主があつて在職五十年、ユーフラテス附近を土臺として西はパレスチナを含み、東はナパールを合せて帝國を統一し威を中央亞細亞に振つたのであるが、王は啻に武勳の赫々たるのみならず、或はチグリス、ユーフラチスの間に運河を鑿ち、水田を開拓し、或は牧畜殖產の業を講じて國富を增し、バビロンの黃金時代を現した。ハムラビ王は又敬虔な王で、御自身は太陽の子孫であるとして尊ばれたのみでなく、各都市の神宮を改修し祭祀の料を給し人民の宗教心を皷舞した。文學奬勵にも亦有名なるもので、後世に傳へらるゝ傑作は多くは此時代の產物である。ハムラビ王はナポレオンの如く、法律的の頭の人で正義を重んずること深く、舊慣を取調べ、傳來の法律を蒐集して之を改正し、不朽の大法典を制定したのである。其法典は石に鑄りつけられてあつて、三個の

石片を合すれば高さ約二メートル半巾二メートル程のものとなる、法文二百八十二條のうち磨滅して分明ならざるものあれど、二百四十八條は一字一句明瞭に讀むことが出來る。ハムラビ王が其臣下に與へたる五十五通の書簡は現に存在し、尚バビロンの第一王朝時代紀は英國博物館に保存せられてあり、法典と參照して當代を察することが出來る。

（二） バビロンの社會

ハムラビ法典によつて見ると、當時バビロンの社會は三階級に横斷せられてある。第一はアウイルムと稱して紳士階級で上流に位する、多分皇族と同一人種であつたであらふ、軍人及び他の官吏を始め技術家も此階級に屬してある、職人が上流に位するのは隨分面白いと思ふ。大工であるとか、着物を仕立てる技師であるとか、通常日本の職人と呼ばれる部分は上流であつて、醫師の如きは却つて下流になつてゐる。第二はムスケヌムと稱し自由民ではあるが市民の下層の者である、多分被征服者の種族の子孫であらふ、下流階級と呼ぶ。大和民族に對する東夷といふ譯、財産は多少持つてゐるが多くは貧しい。第三の階級は即ち奴隷の社會である。賣買せられる。されど主人は生殺の權を持つてゐない。以上三階級の間には互に權利の侵す可からざる者ありて儼として存する。

若しは上流の人の頰を打たば鞭を以て六十打たれる。下流の人になら三十で濟む、奴隷の場合も同樣である。斯樣に上流を犯した時と下流を犯した時とは自ら刑罰に輕重がある。醫師が手術を行つて過つて殺した時に、被害者が上流の場合は罰として手を切り落される。奴隷である時は罰がなく、奴隷所有者に代りの奴隷を送ればよい。

此のハムラビの法典が發見されてから、學界に大分波瀾が湧き起つた。獨逸の一學者がバベル、ウンド、デベルと云ふものを書いた。聖書にあるモーゼの法令といふものもバビロンの法典から眞似したに過ぎぬといふのである。神樣が示されて作つたといふのは噓で、舊約聖書の五書にあるところの誡や律文はバビロンの方が千年も前に施して守つてゐたといふ議論が起つた。モーゼの法律が此のハムラビの中から何れ程盜んだか眞似たかは私の問題外だから茲に曰はない。委しく知らんと思ふ人は獨逸人のエレミアスやグリムス英人クック及びピンケ等の研究を見るがよい。

（三） 夫婦の關係

此法典によるとバビロンに於ては家族が中心である、個人よりも家族が重んぜられた。家族の土臺は夫婦であつて、夫婦は即ち結婚に始まるのであるが、バビロンに於ては結婚をどういふ風に見て居つたかといふと、四千年の昔に於て早くも、結婚はコントラクト即ち契約であるといふ思想を有して居つた。結婚には掠奪結婚と云つて娘を盜んで來て嫁にするといふのが往時には大分あつた。今日でもアフリカや露國の南方で行はるゝところがある。又一方には天主教の主張のごとくサクラメント即ち神樣の思召、神樣の合せ給ふもので、男女兩人の契約ではないといふ思想がある。夫婦が厭になつても放れられぬといふ樣に普通に考へられて居るが、ハムラ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ピの契約觀念から云へば、相方合意の上からであるから、夫たるものが夫たる可からざる事をなし、妻が妻たる事をなさゝる時は、夫婦契約が破れるといふ、近代思想の契約說が已に認められてゐるといふは然く可き事である。

(四) 財產の私有

どういふ樣にして結婚が成立つかと云へば、男が或る家の娘を欲しいと思ふと、娘の父の處に贈物を持つて行く。親が承知となると田地とか羊とか其他の品を娘の父に送る、父は娘が愈々嫁に行く時之を悉く娘につけてやる外、自分の財產の一部を結納として遣る。日本のやうに花嫁花婿がお互に少しも知らず、綿帽子を取つて吃驚するやうな事はバビロンにはなかつたやうである。嫁の持つて來た財產は夫の財產となるのではなく、嫁の私有財產として持つてゐる事が出來る。これは明治以後の人々には不思議はないが、昔は何處でも女が私有財產を持つなどは中々許されなかつたことである。バビロンにては能くそれ程迄進步してゐたものと思ふ。偉い事を四千年も前にやつてゐたものと感歎せざるを得ぬではあるまいか。併し此私有財產は女が不品行をした時は悉く夫のものとなる。嫁に行く前に有してゐた以前のお互の負債はお互が負ふが、夫婦になつてからの負債は共同責任である。これは夫婦は一體だからで、甚だ明白である。

結婚は斯くして成立つが、夫婦關係の破れる時は如何といふに、日本には七去の敎といふがあるが、第一子なきは去る、嫉妬を燒く女は出すといふのもある、之れなどは甚だ無理な話で、愛情には嫉妬は伴ふものである、男子の我儘も隨分なものである、同じ東洋道德でも、四千年前のバビロンのハムヲビ法典にはそんなものはなかつた。然し夫婦契約の壞れる時はある。それは女が不仕鱈な事をした時で、夫に對する侮辱として明に離婚の理由たり得る。斯ういふ時に姦夫姦婦を一緒に引括つてユーフラテスに拋り込めとある。痛快な法律もあるもので、河の中へ拋り込めといふのだから恐ろしい。また不經濟で不節儉で家產を蕩盡する女は離緣して了へとある。子供がない時は離緣せよといふ文句はないが、多少さうした意味に取れぬ事はない條文がある。それはさういふ時は自分から引下るか、さもなければ其家に居止まつてもよいが、其の代りに自分の代理者を夫に推薦して子を生んで貰ふのである。そして子さへ生んで貰つたら最早追出さうとも奴隸にしやうとも差支へはない。併し乍ら若し女が其代理を推薦しない時は男は妾を置く權利がある。そして、若し其妾に子が出來たら正妻は一段低いものとして取扱はるゝ制度である(第百四十五條)

然らば女が男に對する離婚要求の原因は如何といふと、夫が不品行の場合には男と女を一緒に河へ拋り込めとは書いてないが、嚴重な罰に處せられる。要するに妻あり子ありて他の女に接し又は妾を置くといふ事は許されぬ。ハムヲビ法典には明に一夫一婦の思想がある。また夫たる者が妻が持つて來た處の財產に手をつけて費消した時は、妻が離婚になつたら其費消全額を返濟せなければならぬ。斯樣にして婦人の財產私有が徹底してゐる。

夫が戰爭で捕虜になつて、妻が獨身生活の出來ない時は、他の人の妻となるには無罪である。捕虜から男が歸つて來たら又此の男の處に來てよい、若し其間に子が出來てゐたら與れて了つてよいとある。

（五）親子の關係

親子の關係にはバビロンは東洋流の處が現はれてゐる。親に借金があつて返されぬ時は、子供を債主の處に人質にやる、そして其子の働によつて勞役賃金が借用金高に達する迄は居らなければならぬ。親と雖も子供を殺す權はない。子が親の頬を打つた場合は警察官が其子の手を斬る。之れは多くは養子の場合である。養子が養母を『あれは私のほんとの母ではない、恐な婆です』などゝいはうものなら、母に對して無禮千萬といふので舌を拔かれる。斯樣に峻嚴な法律で孝行の道を鼓舞した。子が若し不仕鱈をする時は勘當する。終には廢嫡する事も出來る。親が娘に通ずる時は國外に放逐する。放逐罪は此一ケ條のみである。親が我子の妻に手をかけた時は親父を引括つて河に沈める。

若し生涯獨身生活をすると誓ひ、神に仕へる巫女、尼僧となつた者が、酒屋に入つて酒を飮むか、又は酒屋でも開く樣な時は其女は火あぶりの峻烈な刑に處せられる。身を潔くすると神に誓ひ人の師表となるものは自ら酒を飮んだ位でも嚴罰に處せられる程のものとしてある。之を日本の巫女及び尼さんなどに及ぼしたら如何であらう。神に仕へる者は之れ程責任を負はせてあるが又尊い者としてある。神に仕へる婦人に指をつけたら死刑にするとある。指すとは侮辱の意であるが、それだけでさへ恐ろしい罪に問はれる。之によりて當時風致を維持したのである。若し這麼矢釜しい國が現にあつたとしたら如何であらう。其峻嚴に驚かざるを得ないでないか。それが而も四千年も前に實際にあつたのだから驚く。たゞに石に法典が鐫りつけられてあるのみでなく、實際に行はれてゐたのである。此見地から日本の現代を見て如何の感があるか、社會の上流に立つ人は多くは妾などを蓄へてゐる、藝妓の類に親しんでゐる。實際上一夫多婦である。これで何が新しいのであるか、何が進んでゐるのであるか、回顧す渺茫四千年、轉た慚愧の冷汗が、腋間に滂沱たるなきを得るか。

（六）權利義務の尊重

翻つて財産に關する權利はどうであるかといふに、ハムラビ法典は明白に財産の神聖な權利を認めてゐる。神宮にある財産を盜んだ者及びそれを受けた者は共に死刑である。金銀羊驢馬などを所有主又は所有主の伜又は使用人から買つたといふ明白な書狀のない者は泥棒として死刑になる。強盜、逐剝皆死刑である。羊を飼つてゐる人其他牧畜をやつてゐる者が、自分の牧場でない他人の牧場の草を食はせた時は、それ丈小麥で償はなくてはならぬ、子供を盜んだ者は死刑である、子供を盜むといふと異樣に聞へるが、亞米利加等には時々ある。ブラックハンドの名で一時人心を寒からしめたのは、富豪の子供をさらつて、五十萬圓の金を持つて何地に何日の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

何時に必ず持つて來て白い手巾を振つて居れ、さうしたら金と引替へに子供を渡さう、若し一人以上來るか警察に密告でもする時は汝の家をダイナマイトで破壞し、子供を殺すからさう思へといふ樣な、戰慄すべき恐喝をする。バビロンの時代に於ては子供は主として奴隷に賣つたのであらうが、上流又は下流の子供を盜んだらば死刑。奴隷は財産だから奴隷たる事を知つて逃がし、又はそれを知つて買つた者は重刑である。

文明は契約の嚴重に行はれる處に存する。若し契約が充分に行はれぬなら文明は進んでゐないと見ねばならぬ。バビロンは實に契約を重んじた國である。即ち文明の進んでゐた國と云はなくてはならぬ。契約を重んじた例は又法文に現はれてゐる、田圃を耕すといふ契約をして之を實行しない時は、他の人が働いて其土地から得る丈の收穫を、違約した人が償はなくてはならぬ。大工が家を建てるに契約より手を抜いて其家が倒れるなりして損害を與へた時は死刑である。金を借りて利息を返さぬ時は、妻や子供を其家にやつて働かせて金を返さなければならぬといふ風になつてゐる。日本にこれ丈契約が行はれてゐるであらうか、イエスとノーとどれ丈け判然としてゐるか、文明の程度を此點から觀察批評するも面白からう。

ハムラビはまた義理を重んじた。バビロンは田があつて澤山の堤がある。從つて時々堤を修繕しなくてはならぬ。それを怠つて、それが爲めに洪水を起すとか、其他己れの修繕の義務を怠つた爲めに、他人のものに損害を與へた時は重罪に處せられる。人を誣告して夫れが爲めに死に至らしめたる時は死刑である。僞名僞證亦重罪である。幻術を行ふ時には河に拋げ込まれる、若し河に吸ひ込まれない時は助かる。船大工の不注意で船を沈める場合には船大工は重罰を免れぬ、總て自分の責任を全うせず、自分の不注意等の爲め人に害を與へる時は重い罪に處せられる。責任を重んじ義務を重んずる斯くの如し、又以てバビロンの文明を窺ふに足る。

（七）驚く可き社會政策

今一つ面白いのがある、此時代に於て雇料其他の賃金が定められて居る事である。假へば羊を飼ふ人、大工、着物の仕立人、石屋、建築師、農業雇人等の賃金は何程と明白に定めてあり、仕立人は七厘、建築師は九厘といふ風にちやんと石に鐫りつけてある。これは實に奇妙な事をやつたものだ、ビーアの如きも價が定まつてゐる。法定の價格があるといふのは古今珍らしいことで、經濟の原則を無視したもの丶やうである。けれども茲に考へなくてはならないのは、此頃日本でも大分唱へられるが、米國に於て最も囂々として論じつ丶ある勞働問題の解釋法に最低賃金額を定めよといふのがある。大工が一日賃金一圓二十錢で石屋は一圓と云つた風に最低の賃金額をば法律で定めて、それ以上の賃金を雇主は支拂はなくてはならぬ。假令不景氣であらうが無からうが、それより下の賃金では飯が食へないから、之れより下では不可ないといふ額を定めよといふにある。此點から考へ合はすと、バビロンの此法定價格も亦必ずや最低價格の賃金を定めたものと解

釋すべきであるやうに思ふ。最高價格を示したものでないことは明かである。又一定不變の價格を揭げたものでない。して見ると英米諸國に於ける矢釜しき社會政策が、四千年の古へにあるといふ驚歎すべき事實を發見するのである。人文の進步も亦遲々たる哉と評せざるを得ないでないか。

古代未開の法律は多く宗敎と混じ、正義又は權利の觀念は明白でない、神意に叶はぬからとて禁止する誡律を主としてある。ハムラビ法典は珍らしく近世的のもので純然法典として價値を有してをる。然も其法典に示されたるところに據りて當代の倫理思想を察するに、四千年以前の社會の法規と思へぬほどでないか、大正の御代の我國の道義と風習とを考へ來りて轉た恥辱にたへぬことは無いか、嗚呼四千年以前の國民に恥ぢざるを得るであらうか。

一九一五、一二、一〇、

貞操の意義と價値

早稲田大學教授
廓清會理事　内ケ崎作三郎

一、生命の根源善惡の生處

およそ一國の風敎は其の土木建築等によつて之を察するとが出來る。この點より云へば我が日本の如きは實に憐れなる者である。每年夏の洪水に到る處の道路橋梁の破損するのは土木道德の發達してゐない爲めではないか。今日眼を上げて社會を見渡す時に、不良少年何ぞ多き、病的靑年何ぞ多き。而して是等文明の進運を妨ぐる者は如何にして、又何處より出で來つたのであるか。諸君、蒔かざる種子は生えない。然らば「種子蒔く人」は誰であるか。世には一身の快樂、一時の快樂を以て人間最大の幸福であると考へてゐる人が多い。彼等は倫理道德を破り、瞬時の肉慾を滿足せしめて、勝利の叫びを揚げる。然し道德的眞理は人類幾萬年の經驗によつて生み成されたのである。甲の個人、乙の個人の力によつて、もろくも其の存在を失ふやうなものではない。今より百十數年の昔八十の高齡を以て、ケーニヒベルグに逝いた大哲カント墓碑銘に曰く「星の赫ける大空は我が上に、道德的原則は我が內に」と。大空が我等の頭上に落ちて來ない限り道德は決して亂れる者ではない。然るに此の道德、ことに諸德の根源なる男女の道德を破る者が如何に多いであらうか。彼等は實に罪惡の種子を蒔く者である。

此の頃某文士が二度目の妻を別居して新なる婦人と共同生

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

活するやうになつたことは。痛く世の攻撃を受けた、是れ即ち我が國の社會的良心が全く滅びない證據であつて、吾人の喜ぶ所である。ダンテの神曲には、地獄、煉獄、天獄あり、亡者は生前の罪によつて三獄の中の何れかに入るのであるが、淫亂の罪は比較的輕視されて居る。獨りダンテのみではない世人の多くは斯く考へたのである。否斯く考へてゐるのである。然し乍ら是等の人々の考へが誤りであることは近代の科學によつて證明せられた。近代の醫學は偶然にも、或ひはカーライル流に云へば必然的に、吾人の信仰に科學的證明を與へた。男女の貞操は諸德の根源であつて、各人の嚴守すべき者である。殊に青春の男女に取つては最も重大なる事柄である。

一體此の世の中に愛程大切な物はない。驚くべき精神の働きが此の愛より發するのである。ことに男女の愛は其の力故も強い。されば中庸にも「君子之道。造二端乎夫婦一。及其至也。察二乎天地一」(朱熹章句第十二章)とある。動物の雌雄關係を見るに、其の種によつて發達が有る。蟲の如きは雌雄相會すれば、何等の撰擇なく直ちに關係が成立する、然るに高等の動物になれば多少の撰擇が行はれる。就中、彼の鴛鴦の如きは雄雌常に相離れることがなく、完全なる一夫一婦の關係を守つてゐる。尚之に類する實例は他にも澤山有ると思ふ。

人間は所有動物の特色を具備して然も一歩之に先んじたものである。然るに皮相なる自然主義は人間を動物と同視したけれども人間は決して他の下等なる動物と同一であつてはならない、又あり得ないのである。人間にあつては男女の性は生命の根原である。一切の善惡は唯之が適用の如何によつて生ずる。吾人の品行が方正であれば子孫の身心は健康である。性は人類の最も神聖なるものであつて、之を濫用する者は、取りも直さず天則を犯す者である。實に由々しき事件ではないか。

二、性の濫用と其結果

野蠻人の男女關係は時に下等動物の其に等しい場合が有るけれども文明人にあつては決してさうでない。我等は互に撰擇する。動物の雌雄關係が一時的、生理的であるに反して、人間の夫婦關係は生理的、心理的、審美的、道德的、社會的である。吾人は互ひに理解し、互ひに精神的にも道德的にも協同し得る男女の結合を眞の夫婦と云ふ。斯くの如き夫婦は實に社會の根源である。斯くの如き夫婦にして初めて生理的なる肉體關係の上に、神秘的、知識的、道德的、宗教的、社會的なる精神の結合を成就し得るのである。而して斯かる道德を說くのが眞の宗教の使命である。

世間には知らざるが爲めに罪惡を行ふ人か多い。是等の人には我々は眞心を以て敎へてやらねばならぬ。一切の諸德の源なる男女の愛を高むれば、其他の事は自ら立派になる。而して愛を高尚なるものとするには、常に之を訓練することが必要である。かくして。性の力を善用せねばならぬ。

先づ我々は何故に健康を力說するか。性の力を支配せんがためである。身體虛弱なる者は性の力に勝つことが難しい。又體壯なる者も必ずしも之に勝つことが出來ない。けれども

大體に於て健康は性に誤られざるが爲めに必要である。人間は非常に微妙なる組織を持つてゐるから、往々にして狂ひ易い。器械にしても微妙であればある程狂ひ易いのである。早い話が、電燈にでもオスラムやタングステンは光度が強いかはり、普通のよりも早く破損する。又彼の飛行機の發動機などは非常に微妙なものであるから、破損し易いのである。之に反して荷馬車の車などは甚だ簡單であるから、仲々こはれない。人間は人間の工風した如何なる機械よりも複雜微妙であるから、其の狂ひ易いことも亦甚しい。ことに神經系統は文明の進歩につれて、益々微妙に又益々狂ひ易くなる。昔は今のやうに精神病者が多くなかつたのも此の理である。現代の人間は狂はないやうに常に用心しなければならぬ。

然るに自ら精神の狂ひを誘導する人が甚だ多い。男女間の道德を守らない人が其である。神聖なるべき性を濫用する人は、間もなく記憶力は減じ、道心は弱くなり、悶々の中に不幸なる生活をなすに至るのである。文豪モーパッサンも其の晩年は一丁字無き馬丁にもおとる狂人であつたではないか。よしんば不品行をする人は僥倖にして事なきを得るも其の子孫に至つて恐る可き遺傳の呪ひは現はれる。此の事は遺傳を研究し、犯罪等を專攻する學者のひとしく證明する所である。

又人間は常に社會に生きてゐる。我々は自身のためのみならず我々の兩親のために、先祖のために、家族のために、子孫のために更に國家社會のために生活してゐるのである。故に吾人は道德を守らねばならぬ。道德は他人の爲めにも守らなければならない。

先日東京の一新聞紙上に某ドクトルが次のやうな談話を載せてゐた。一度男子に接したる婦人は生理的に精神的に非常なる影響を受ける。結婚後妻の性質や趣味が夫の其に似て來るのは其の一例である。故に婦人は貞潔を操守せねばならず男子は婦人に對して重なる責任を有すと。最近醫學の發見は古しへより貞操觀に甚だ有利なる證言をなしてゐる。

然るに靑年は一時の客氣に任せ、自分の本能のまゝに行動して其の身の滅亡を顧みない。之れ一種の社會的病人ではないか。デンマークのコッペンハゲンは或る恥づ可き病氣を有する患者を一廓に隔離して有る。我々は我が日本にも斯かる嚴重なる法令の行はるゝ時期の來らんことを望むのである。

三、萬物の結局性

現代の人々は、獨り文士のみならず、實業家も、官吏も、教育家も皆貞操に就いては甚だ不徹底なる考を持つてゐる。今日新聞紙上に現はれ背德行爲の如きは實際の百分の一にも過ぎないであらう。大部分の人は何等の攻擊をも受けないで罪惡を行つてゐる。けれども彼等は自らの良心に苦しめられる。

一夫一婦は何故に守らねばならないか。今例を以て之を云はう。私に羽織が二三枚あつても出掛る時は一枚しか要らない。下駄も一足しか要らない。又職業を求めるとする。職業には官吏も有り、實業家も有り、航海業者も有る。けれども私の從事する職業は必らず其の中の一つでなければならぬ。即ち

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

事物には結局性があつて之に落着かねばやまない者がある。それと同じ事で吾人が結婚せんとする時、世間には何ぞ婦人の多きや、又何ぞ男子の多きや。しかも其の中の一人と一人とが一緒になると云ふのは何たる不可思議であらう。昔の人は結婚は出雲の神の司る所と考へたが、實際人間以上の運命の力、神の導きに外ならない。

日本のやうな國では仲人は必要であるが、最後の諾否を發言する人は當事者たる男女でなければならぬ。諸君は此の點に於ては蛇の如く賢くなつて、決して他人にあざむかれないやうにしなければならぬ。イエスは鳩の如く優しく蛇の如く賢くなれと教へられた。今日は女を詐かんとする男と、男を僞らんとする女と實に多いのである。今度の某文士にしても其の第一の妻、第二の妻、共に輕擧を敢てしたやうに思はれる。

四、一夫一婦の報酬

箴言第七章に遊女を遠ざからしめる云々の教へがあるが、イスラエルの賢者は知識を重じ、理性を以て判斷したのであつて、單に信仰のみでは駄目だ。今日宗教を信ずる人は時勢後れと云つて笑はれる。決して笑ふ者のみが悪いのではない宗教を信ずる者が徒らに信仰信仰と云つて理知をおろそかにするからである。宗教を信ずる人が賢明な人とならない中は宗教は何時までも馬鹿にされる。

扨て我々は此の智慧を以て撰擇した人と結婚するのであるから、其れに就て全ての責任を負はねばならぬ。尤もいくら自分の擇んだ夫や妻でも時には厭になることも有るであらうしかし此の時が大切である。毎日机の上に載せて置く植木も見慣れるにつれて倦きて來る。しかし一晩外の夜露にあてれば、翌日からは青々として又別種の趣きが出來る。辯護士が職業の無味乾燥なのを以つて止めやうと思つてゐると、突然無實の罪に陷つた者を救つて新に自分の天職を自覺する。醫者が夜中に起されて金にもならないから他の職業に變らうかと思つてゐると、九死一生の病人を助けて痩せ果てた手を合せて御禮を云はれば又醫者として誇りを感ずる。小學校の教師が友の出世を外に聞いて何時迄も田舍に引込んでゐるのは、實につまらないと思つてゐる中に年も取り弟子も多くなり、謝恩會などを開いて貰へば、自ら慰めるに足る。年功加俸や奏任待遇もあるのである。職業に對する眞の報酬は老年に至つて初めて與へられるのである。大隈伯は七十二になつて榮職に昇り、高田博士は三十數年間早稻田大學の經營に努力し神經衰弱にまでなつてゐた所へ文部大臣の辭令が下つたのである。弱り目に祟り目と云ふことがあるが、これなどは弱り目に祝ひ目とでも云ふべきであらう。一夫一婦の報酬は晩年に至り、子孫繁榮一家和樂の中に來るのである。

半獸主義唱へたければ唱へよ。刹那主義説きたれば説け。彼白髮の老人となる時、彼の子は果して彼を如何に遇するであらう。或る人は老年のことなどを考へるのは馬鹿だと云ふかも知れない。彼等は現代人は煩悶しなければならないなどゝ云ふ。煩悶をするのみで何の役に立つものか。太陽が毎日

出るのは面白くないから一日おきに日蝕になれば好いと云ひ唯の雨ではつまらないから火の雨が降れば好いと云つたらどうであらう。大學に曰く「好ニ人之所一レ惡、惡ニ人之所一レ好、是謂レ拂ニ人之性一、禍必逮ニ夫身一。」と。（朱熹章句第十章）ひねくれた人間は地獄に入れるより外に仕方がない。

眞理を知らずして罪を犯す者は恕すべし、之を知つて之に從ふの至誠が無い者は實にダンテの地獄に送らねばならぬ。ダンテの地獄は實にひねくれたる意志を有する者のゆくべき途であつた。人誰か罪なからんや。イエス曰く「汝の罪を再び犯す勿れ。」翻然立歸り來れば神は凡ての罪人を赦すのである。然るに今の近代人と稱するもの、煩悶するのみで、新なる歡喜の生活に導かんとする神の手を退けるではないか。

五、野の百合を記號に

理想としては男女ともに身體も精神も健全でなければならぬ。然し我々が結婚せんとするに當りて、そんな理想の男女が何處にあるか。けれども理想の人が無いからと云つて獨身生活を送る人は、先づ自ら反省するを要する。自分が不完全であつて相手ばかりに完全を求めるのは餘り蟲の好い考へではないか。そこはお互ひに多少讓歩しなければならぬ。

私は青年諸君に告げる。結婚するまで貞潔を守つて勉強し修養すれば必らず好い配偶をえられると。これは殆んど一つの信仰である。人間は人を欺き自らを欺くとも到底天地間の一大眞理を欺くことは出來ない。今日最も大切なことは人格あり、知識あり、道念ある男女が協力して家庭を修めて行くことである、カントは人は他人を手段としてはならないと云つた。キリスト教徒はキリストを學ばなければならない「汝等の身はキリストの肢なるを知らざるか」これ保羅の警告である。

青年は段々寂寞を感ずるものである。此の時に宗教的信念を養ふことは最も必要である。傳道書第三章には全て事をなすに時期のあることを教へてゐる。結婚にも亦時期が有る。青年諸君は常に人格を修養して時の到るを待つ可きである。「渺渺兮予懷、望ニ美人兮天一方一」と。赤壁の明月に吟じた詩人の歌何ぞ調高きや。

川柳子曰く「女房に惚れて御家繁昌」、「錢金闘ふも姫闘ふな」是等は皆よく味ふべきである。我々は野の百合を記號としたい。野の百合の花何ぞ氣高きや。何ぞ純潔なるや。ジョージ・メレデス曰く「愛は狂氣なり、然れども天の智恵の加はる時に、神々しき光となる」と。斯かる神々しき力が孔子、キリスト、ソークラテースを生んだのである。之なくして單純なる本能は殺人者其の他有らゆる背德者を生む。故に貞操問題は實に輕視すべからざる大問題である。

我が國の地方は慾く可き墮落に沈んでゐる。壯丁の體格は年一年と惡くなつて行く。しかも宗教家も學者も之に著眼する人は甚だ少い。性の問題は人生の根本問題であるのに、之を教へずして人の子を教育せんとする教育家は、本末を知らない者である。

男尊女卑と女强男弱

廓清會評議員　高島米峰

□病を無くするのみではならぬ

世の中に無くてならぬ事は幾つもあるが、此の廓清會の仕事の如きも、其の無くてならぬ者の一つで、實に廓清會は現代の要求によつて起つたものである。そして其については已に幾人も説明して居るから、私は公娼廢止の先決問題に付て愚見を述べて見ようと思ふ。

諸君、誰でも自ら進んで病氣になりたいと望む人は無からう。然し病氣なる者はある。そして人が病氣に罹ると、之を恢復させる爲に醫者にかゝる。藥を服む。其で病氣は癒つて此問題は解決せらるゝが、其で滿足しては居られぬ。醫者や藥は唯原狀に恢復させた迄で、何等の向上發展はない。故に初めより病氣に罹らぬ方が可い。是は誰もそう思ふとであると思ふ。宗教なる者は人の煩悶苦痛を除く、是は宗教の半面で決して全體ではないが、兎に角宗教は煩悶苦痛を除く。故に若も人が常に慰安に居たならばどうであらうか、斯かる時には宗教は要らなくなる。宗教は恰も醫者か藥の樣な物であるから、煩悶苦痛と云ふ病氣に罹らなかつたならば、宗教は要らぬ者の樣に考へて居るが、是は大なる間違である。宗教は決して醫者でも藥でもない。却つて吾人が日常食つて居る米の飯の樣な者である。死ぬる爲の物でなくて、生きる爲の物である。公娼なる者が世の中に存在して居る。是は社會の病氣である。已に病氣であるから現症に對して執るべき事は醫者によりて藥を服する事である。倂醫藥の効で恢復はしても、唯快癒したゞけでは前に述べた理由を以つて、滿足する事は出來ない。此の病的現象に對して其を無くした丈ではいかぬ。より以上に進まなければならぬ。其には其發達して來た原由を繹ねゝばならぬ。

□娼妓の出來る原因

或人は公娼なる者が出來るのは、世人の生活困難から仕方なしに起るので、已むを得ず身を賣つて一家の困難を救ふのであると云ふ。昔から娼妓になる者の大多數は之である。親の借金を返濟する爲に娘を賣る。或は娘の意思から出て、我身を賣つて親の危急を救ふので、一言に言はゞ生活難から出て來るのである。然し生活難は男の方にも起る。否却つて男の方が却つて女よりも一層生活難を感ずる。男は女の方を扶養するの狀態であるから、男の方が困難である。故に生活難が

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

3 — 516

娼妓となる大原因であるならば、男が身を賣る事がありさうな物であるが、之に反して女が身を賣るのは不可解ではないか。故に生活難は娼妓を作る所の主要なる原因ではないと思ふ。或人は又男の不品行が原因をなして居ると云ふ。是も不通の論であると思ふ。如何となれば性慾の發動は男女に差のある筈はない。然るに男に對して娼妓があるが、女に對して男娼なる者が無い。又男は女に比すれば制慾心に乏しい。故に男は不品行をするが、女は不品行を怺へる。それで男の滿足を得さするが爲に公娼が出來たのであると云ふ。是も甚だ不通の論であると思ふ。制慾心強い女が制慾心乏しい男の犧牲にならねばならぬと云ふ事はどうも分らぬ事であると思ふ。

□罪宗教にあり

由つて私が思ふに、是は生活難の爲でも無ければ、制慾心の差の爲でもない。全く男が強く女が弱いから起つたのであると思ふ。男尊女卑と云ふが、男强女弱と云ひたい。男は強く女は弱いから、男が二人三人の女に關係しても異議を云ふとが出來ないと云ふ所から公娼が出來たのである。若も之に反して女が強く男が弱ければ、女の行く遊廓が出來たかも知れぬ。然しどうして女が弱く男が強くなつたかと云ふに、是は東洋の宗教思想が產み出したのである。此の思想は利益もあるが同時に害もある。即ち儒教では『女子と小人とは養ひがたし』と云ひ、佛教では『五障三障の惡人』とも云ひ、『外面如菩薩、內心如夜叉』などゝも言つてある。甚しきに至つては極端に『女は帝釋になれない、魔王になれない、佛になれない』と說いてある。佛教は人を濟度して佛にならせたいと云ふに、女は佛になれないと云ふて居る。お神様と云ふのは女が活きて居る內の語で、死んでは神にも佛にもなれないのである。然るに阿彌陀如來と云ふ馬鹿が出て、四十八通りの願を立てた。其三十八番の願に『女が死んだ時には男性に轉じて佛に成れる樣にしてやる』と言つて居る。即ち男尊女卑の思想は斯く東洋の宗教の中に敎へてある。此れから東洋の男强女弱が出て來たので、男は幾らノサバつても構はぬ。女は如何に窘められても默つて居ねばならぬ。一夫多妻で平氣で居る。貞操と云ふ事は女の專賣で、男には貞操の觀念が無い。實に氣の毒に思ふ。故に吾人はどうかして此の弱い女を強くして男の玩弄物となるを防いでやりたいと思ふて今晩の會は開かれたので、全く女の爲に開いたのも同樣である。藝者とか娼妓とか云ふ者を救つてやりたいと云つて此會を開いたのに、來會者は女が少い。それでは切角演說をしても仕ようがない。三分の一も女が居ればよいが、其程も居ない。矢張女は弱いからこんな所にも來られないのである。然し女が強くなり男が弱くなることがあらうか。そんな事は決してあるまいと思ふと、其は大間違である。油斷をすると足元から鳥が飛び立つ樣な事がないとも限らない。

□女强男弱の實例

或雜誌記者が、名聲隆々たる某女史を訪問した。そうすると、其女史が言はれるには『世間の妻君だちは實に腑甲斐がない樣に思はれます。私の家庭では決して世間の樣ではあ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

りません。現在では私が家長で、夫は家從であります。夫は悶々と苦んで居て、見て居るも氣の毒の樣ですが、夫は弱者で、私は強者でありますが、夫は男一人前の仕事をせなければなりませぬが、其は私が居るからで、若も私が居りませんければ夫はもつと偉くなると思ひますが、私が居るが爲に夫は小さくなつて働いて居ります』と言ふ。是は事實談である。已に日本の社會にはこんな女強男弱の處がある。實に大事件である。今までの男強女弱は不道理であるが、今度は其と反對に女強男弱となつたのも亦不道理と云はねばならぬ。其女史は語を續けて『私の方から夫に小使をやる事もあります』と言ふ。記者が『夫の不品行はどうです』と尋ねると『主義があつてするなら決して差支はありません。女の方でも主義があつてするなら宜しい。無論男の方が宜しければ女の方も宜いのであります』と云ふ。女強男弱もかうまでなられては私も困る。かうなると男の娼妓が出來るに違ひない。其時は所謂遊冶郎を男娼として、女の遊ぶ遊廓を拵へてやらなければならぬ。それでも今日の遊廓と男と女が違ふばかりで同じである。

□女も男も同樣に強くならねばならぬ

其で私は考へる。遊廓を無くするには男が強くてもいかず女が強くてもいけない。男も女も同し強さにならなければならぬと思ふ。女が弱いから男が女を玩ぶ。若も女が強ければ女が男を玩ぶ樣になる。男がナニ女風情の玩弄物になるものかと云ひ、女もその如く、ナニ男風情の玩弄物になるものかと云ふ樣になれば男女の間の徳も純潔で、男の不品行も女の不品行もなくなり、公娼など云ふものは無論なくなる。青年男女間のイサクサを吟味すれば男も女も惡い。『誘ふ水あらば往なんとぞ思ふ』リボンと云ふ熨斗をつけてサアどなたにでも進上致しますと云ふ風だから間違ひが起る。そして古い思想がチョイ／＼出るから、遂に之を玩ぞ氣にもなる。之に反し、互に同し位に強くなつて、お互に犯す事がなくなれば男女の間は圓滿になる。女が強くて男が弱ければ、女が男を侮辱することになり、男が強く女が弱ければ男が女を侮辱することになる。お互に尊敬し合つて、互に侮辱することがなくなれば何の不都合もなくなつて、公娼なぞ幾ら設けたくとも決して出來なくなる。由つて今日の公娼廢止は先づ女の強さを男と同樣に引上るにあるのである。さうすれば公娼は自然廢止される。今日公娼制度を廢止しようと云ふ運動は決して惡くはない。自由廢業を獎勵するのも宜しいが、是は病氣に對する醫者か藥の如き物で、現症に對しては其より外に仕樣はないが、其病に罹らぬ樣にしようとするには、本統に女を強からしむるより外に手段はない。道徳上から見ても男強女弱は惡いと同時に、女強男弱も亦決して宜しくない。男も女も同等に強からしめねばならぬ。其には先今日の所謂女を引上げて男の如く強い者にせねばならぬ。さうすれば男女問題の總てが解決されるのである。是が公娼廢止の先決問題であると思ふ。（廓清會演說大要）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

獨逸の育兒法に就いて

ドクトル　三田谷啓

□獨軍は何故强いか

今日の歐洲戰爭の結果獨逸軍の强き事は各國何人にも想像以上の一驚異であるが、然し之を單に獨逸が戰爭のみに强いのだと思つて、その所以を軍隊的訓練の完美のみに歸するのは甚だ近視眼的謬見であると云はねばならぬ。獨逸は決して戰爭萬能國で戰爭のみに强いのではない。國民全體が强いのである。戰爭は唯一方面の現象であつて、その根底に國民が强いと云ふ事が觀取されるのである、即ち商業戰に於いても學術に於いても其他種々なる方面に於いても國民の强い事は現れて居るのである。而して國民の强いと云ふ事の中には婦人も强いと云ふ事を意味するのである。獨逸は此の國民を强くする爲めに隨分長い間苦心して來たが、殊に婦人が小兒を强健なる國民として育てる事に全力を盡して居るのである。故に今回の戰爭に於いても獨軍が何故强いかと云へばその根本は强き國民を造るべく骨を折つた爲めと言ふことが出來る。

□乳兒の保護に就て

獨逸が小兒を强い國民として育てるために乳兒時代より周密なる注意と學術的な研究とを以つてして居る事は後に述べる事にする。

一體この小兒は生後一ケ年間に最も多く死ぬるものである即ち人間の全生活期を通じて此の時期が一番死亡數が多いのである。何故此時期に死亡が多いかと云へば小兒の抵抗力はまことに微弱なものであるから食料其他寒暑の關係からして些々たる不注意からでも身體に害を及ぼすのである。動物即ち犬、猫、小鳥の類に於いては彼等は生れて後間もなく食べる事を識つて居るけれども人間の兒は生れてから直ぐ生活して行く事が出來ない。そこで親がその責に任ずるのである。自分で迚も生存し得ぬものは死んで産れるか或は生後直ぐ死ぬるのであるからそれは仕方がないが、然し充分に看護保養すれば避けらるべき病氣に罹らせて死亡せしむるのはその方法を誤るからであると云はねばならぬ。

それに就いて最も注意すべきは小兒の榮養であるが、これには人工的營養と自然的營養との二つがある。人工的とは例へば牛乳羊乳等を與へる事であつて自然的營養とは人間の乳を與へる事で此れが一番適當な營養である。牛乳は牛の兒が飲むのが自然的であるやうに人間の兒には人間の乳が自然で

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

あるのは明白な理である。然るに婦人の乳が出ないとすれば止むを得ないけれどもよい乳の出るにも拘はらず、他の動物の乳を飲ませるのは婦人自身が自己の責任を無視した又自然の法則に背く事である。日本では古來からこの自然的な美しい風習があつて西洋人から非常に羨まれて居た位であるが、近來は上流婦人等に多くこの反自然な人工的榮養法が行はれるやうになつたやうである。これは誠に遺憾な事であると思ふ。若し婦人が自分の兒に乳を飲まさないとすれば、その人の生んだ女子には乳が出ないやうな事になる。斯かる恐ろしい例を見る事は實際上少くないのであるから婦人は自分の責任を盡すために天與の賜である乳を小兒に與へて任務を果さなければならぬ。

尙又人間は誰しも一度は死ぬるものである。その人間の生命は唯子孫に於いてのみ永續するのである。さすれば後の好き子孫を殘して自己の擴大、永續、生命の發展を爲さんとすれば先づ第一に健全なる子供を造る事が必要である。

□育兒機關の設備

獨逸が如何にして兒童の教養に就いて努力して居るかは彼の地に遊んだものゝよく知る處であるがその方法は凡て學術的、衞生的、研究的である。育兒機關の設備が行屆いて居ることは一驚を喫する程である。

第一媬姆の養成　幼兒を取扱ふにはそれ相當な經驗と知識がなければならぬ。そして最も適當に幼兒の發育を圖つて行かねばならぬ。それがために獨逸にては乳兒病院などで媬姆の養成をやつて居るのである。例へば幼兒の抱き方或ひは湯に入れる事、其他牛乳を飲ませる方法などを教へて媬姆に充分なる經驗と知識とを與へるのである。これは一見容易な事のやうであるが實は重大な事である。

第二乳兒保護院　此處には一般の多くの乳兒を收容して經驗のある多數の媬姆が衞生的に子供を育て上げるのである。勿論牛乳も與へて居るけれどもこれは最も衞生的に用意してあるから幼兒は立派に育つのである。斯くして幾多の經驗知識を有する媬姆に依つて乳兒は健全なる發育を遂げるのである。

第二牛乳供給所　此處は主として貧民の人々に善良なる牛乳を與へたいと云ふ趣旨で、よい牛乳を無料又は安價で分與するのである。

第四幼兒預處　二、三、四歳位の兒童を預つて親の代りによく世話をしてやる所である。

第五海濱保養院　これは虛弱な兒童の爲めに設けられたもので、こゝで兒童の心身の鍛練を爲さしめるのである。

日本にもこれからこれ等の方面に於いて大に考究し實際種々の設備が出來ねばならぬ。日本にもこれは早晩實現せらるべきものと信ずるが私は特に現在の婦人諸氏の反省を促し、同時に社會的兒童保護の進歩を希望するものである。

□子供の衣食に就て

哺育の方法を誤れば避け得らるべき病氣もそのためにわざ／＼招くやうな失態を演ずる事は數々ある事であるが、衣食

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の方法を誤りて兒童を病氣に罹らせることは屢く見る處である。例へば衣食の目的は寒暑を適當に調和するのが目的であるけれどもそれを誤つて或は薄きに過ぎ或は厚きに失することがある。又不潔をも顧みないのは多く無智な婦人の爲する處であるが未だ皮膚の弱き小兒にとつては甚だしい害毒である。これは何處までも清潔本位として純潔なる衣服を小供に與へるやうにしなければならぬ。老人などが自分の身體に比較して自分の身體と小供の身體を同視して矢鱈に小供に厚着をさせる事がある。これは又小兒の身體を蒸すやうなもので健康を害し虚弱なる身體にして仕舞ふのだから特に注意しなければならない。

食事に就いては日本の婦人は乳兒に乳を與へる時間が非常に不規則である何時でも泣きさへすれば乳を與へるべきものと心得て居るのは甚だしい誤解である。勿論乳兒は乳を要求する時には泣くけれども、泣けばいつでも乳を要求すると云ふ意味ではない。それ故に最初に乳を與へる時に規律的時間的の習慣をつける事が必要である。私の家庭に於いては幼兒に三時間毎に乳を與へ、その間は決して遣らない事にして居るが、それで毎日安全に發育して行つて居るのである。尤もその成長に比例して時間の短長を定めねばならないのは云ふまでもない事である。

それから間食に就いて或一西洋人が私に話した事がある。それは或汽車の中に於いて日本の婦人が始終その小供に砂糖の多く含んだ菓子を與へて小供の食べる儘に任して平氣な顏をして居るのをその西洋人が見て驚いた事である。その際西洋人曰く『あんなに勝手に食べさせて置いて親は平氣で居られるのですか？』實際西洋人の驚くのも無理はない。彼等は衞生の觀念があり生理上胃を害する事を恐れるからである。多少にしろ生理を解し强健なる兒童を作らん事を欲するものは斯かる野蠻的育兒法をとつてはならないではないか。延いてはこれが成長後も習慣性となつて容易に制する事が出來ないやうになるのである。習慣は第二の天性と云ふ諺がある子供は幼少の時に良き習慣を得るやうに周圍の人が注意せねばならぬ。

尚オデキ其他の皮膚病を豫防するには第一に入浴の際身體の分泌物をよく洗滌し、頭部のみならず全身を清潔に洗ふ事が必要である。

□迷信的育兒の打破

我國の下流社會は兎も角も中流以上の家庭に於て迷信の盛に行はれつゝある事は實に一驚を喫せざるを得ない。幼兒が病氣の際に方向の吉凶に依つて醫師を迎へるとか、或は腐敗した水を御効水だと稱して幼兒に飮ませるとか、或は毒になる物を飮ませるとか種々な事をするものがある。彼等は恐らくその害惡を意識しないのであつて、識者より觀れば實に寒心の至りである。これは彼等無智の人間に一日も早くその無鐵砲なるを覺らしめ眞の合理的な看護法を敎へねばならぬ。

□兒童の精神的養育

兒童は唯身體の方面のみでなく精神的方面に於いてもこれ

を正しきに導かねばならない。そして身心共に健全な發育を遂げさせなければ理想的な教養法とは云はれないのである。

此處に於いて私の最も憂ふるのは兒童に大人と同じく芝居や活動寫眞を見せる事である。よく父兄が小供を連れてかゝる場處へ行くがこれは氣付かずに小供に毒を飲ませるのと同じである。身體に於いては第一空氣の不潔、第二は眼を刺戟して腦の働きを過敏ならしめ、第三は睡眠不足である。これは兒童にとつて最も甚だしい害毒である。かう云ふ事が身體に影響して遂に神經質な小兒を造るやうになるのである。

活動や芝居が小供の身體を害するのは云ふまでもないが精神を害するのも又甚しいのである。例へば感動的なものを見て兒童の感情を矢鱈に唆りたて又理性の批判もなく善惡の判別さへ付かないものにかゝる感動的なものを見せるのは有害である。加ふるに活動や芝居は多く教師や父兄の教訓を裏切るものがあるから折角の父兄教育者の努力も無駄になるのである。延いては不良少年、不良少女、犯罪者等を作る機會となるに至るのである。實際活動や芝居の害惡が甚だしい事を覺つて歐洲諸國に於いては之に相當な取締を講じて居る。獨逸の如きでも土曜日曜の午後に限り一時間乃至二時間の短い時間に於いて特に兒童のみを入れる設備が出來て居る。そして無邪氣な教訓的なフイルムなどを見せて居る。日本にも特に兒童のみを入るゝ兒童芝居兒童活動寫眞の設備を急務とせねばならない必要に迫られて居るのである。これに依つて初めて芝居や活動の小供に及ぼす身心の弊害を除く事が出來るのである。現今は殆ど放任の有様で害毒を兒童に注ぎつゝ傍觀の狀態である。歎ずべきことゝ思ふ。今日當局者や父兄がこれに氣付かないのは實に迂鈍な事と云はねばならない。

要するに日本に於いても今後はこれまでの迷信的非衛生的養育法を捨てゝ學術的な養育法に進まねばならないのである。強き國民を生む根底を築かねばならぬ。これには先づ一般に保育の方法を普及し婦人の努力に待たねばならない。これが爲めには各處に講演會を開き或は研究雜誌其他の書物の刊行講習會の開催等によつて、育兒に關する智識を與へたいと思ふ。女學校の育兒の學課に就ても卑見を有して居るがあまり長くなるからまた他日の機會を待つことにする。

世間では戀愛關係な非常によい事の樣に思つてゐる。それは丁度安全瓣を開いて蒸汽を放散する事を以てよい事と見做す樣なものである。けれども神の心に從ふと、善であるといふのは只眞の生活を送る事であり、神の爲めに才能を用ゐる事即ち人々を愛し、其精神を愛し、先づ第一に自己に最も近い妻を愛する事である。更に精しく言へば、妻を助けて眞理を理解させ、妻を淫慾の道具となさず、且つ眞理を知る能力を失はない樣にするのが善である。即ち作業の爲めに蒸汽を利用し、あらゆる手段を講じて、其蒸汽の散逸を防ぐ事が善である。

女子との社交は性的關係に甚いて彼等と男子とを意識的に區別しない時にのみ善であり滿足である。

女子の社交は何か殊更に善であり、優しい所があるなど〻決して想像してはならない。總べては性慾の幻影に過ぎない女子の社交には、男子のそれと同じやうに多くの樂しみがある。けれども女子の社交に限つた特殊な樂しみといふものはない。あるやうに思はれるとすれば、それは性慾の幻影である。即ち一見識別難い性慾の幻影に過ぎない

――トルストイ――

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

遺傳說と婚姻法

廓清會評議員
法學博士　小河滋次郎

□白痴低能に對する法律

英國に於ける一九〇一年のセンサスに依れば白痴、遲鈍其他の低能者六〇、七七一人の內、一八、九〇〇人又精神病者一一七、二七四人の內、四六、八〇〇人は各々既婚者にして總計六五、七〇〇人の多くの變質者が人の父母となつて盛んに其遺傳を子孫に傳へつゝありと云ふの事實が證明せられて居る。

遺傳說にして誤りなしとならば此內から多數の浮浪乞食の徒もまた產出せらるゝに至るべき譯であつて、之を豫防するの手段として去勢法を行はぬまでも、少くも婚姻法の上に何等かの制限を加ふべしとの議論の起るも無理はない、現に北米合衆國中の「ミチガシ」「テルウエール」「コンネクチカット」「ニユーゼルシー」「ノースタコタ」等の諸洲に於ては法律を以て白痴低能者等の結婚を禁じ「ミネソダ」にあつても白痴低能の男子は四十五歲以下の女子と結婚を禁じ、女子にして白痴低能なるものまた結婚の出來ぬことになつて居る。

□恐るべき遺傳の統計

かゝる法律が果して一般に能く勵行し得らるゝものであらうか、假りに勵行せられたる所で、婚姻以外に果して能く生殖の行はるゝなきを期し得るや否やは甚だ疑問であつて、或は却て私生、虐待、姦淫犯等の增加を促がすの惡結果あるを免かれぬことゝ思ふ。

「コンネクチカット」の法律に依れば、癲癇、白痴、低能等にして結婚又は男女同棲の禁を犯したるものは少くも三年の禁錮刑に處すと云ふことになつて居るが、刑罰責任觀念の上より之を見れば、かゝる制裁を設くることまた甚だ不合理なりと謂はざるを得ずと信ずる。

惡性の遺傳が事實とならば善質また遺傳を爲すべきは自然の理なり、嘗て紐育のダグデールがヤークス Yukes と云へるものの一家系に就て調査したる所に依れば家祖ヤークは一七七〇年に生れ、酒癖且つ無賴漢として一生を終ふ。其子孫の千二百人は一八七四年までに既に監獄に拘禁せられ若くは公安に危害を加へたるものとして其筋の厄介と爲り、其子孫中一人として公職に就き、陸海軍務に服し若くは其他の公共事業に從事したる者を出さゞるに反し、子孫の一人に就て、社會に損害を加へたるの額は平均二千餘圓合計すれば即ち約二百五十萬圓の多きに達すと云々。尙ほ其內譯に就て之を見るに救貧院に入る者三百十人、年數の合計は二千三百年、幼少時代に天死するもの三百人、罪惡に基く疾病に罹れる者、四百四十人、惡行の爲めに自殺又は自傷を試むるに至りたる者四百人、賣淫婦五十人、殺人犯者七人、常習盜犯者六十人（監獄に拘禁せられたる各個人の平均期間は十二年なり）尙ほ百三十人の者は何等かの犯罪に由て處刑せられたりと云ふことである。

之れと同じやうな調査が獨逸のベルマ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ン Pelman Bonn 氏に由ても試みられたことがある、則ち氏の調査したる所は千八百年の始めに死んだ或る酒癖ありし一婦人の、五代乃至六代に渉る子孫七百九人に就ての調査であるが、其結果に依れば百六人は私生兒であり、百六十二人は常習性乞食と爲り、六十四人は救貧院に入り百八十一人は賣淫婦と爲り七十六人は犯罪により處分せられ、七人は殺人罪に問はれて處刑を受くるに至れり。斯くの如くにして社會が此一家の爲に公費を支出すること一年平均二萬五千圓、總計にては是れ亦約二百五十萬圓の多きを推算し得らるべしとの見込を立てゝ居る。

世の中に馬鹿ほど恐しいもの無いと言ふが、一人の馬鹿者即ち變質者又は惡性者にして此くまでに甚しき害毒を後昆に傳へ社會に流す所より之を見れば、彼れの前途、誠に戰慄に堪へざるものなりと謂はざるを得ぬ。

如何なる配偶を選ぶ可きか

矢島楫子

廓清大演説會(無料)

□時日　一月十五日(土)午後一時

□場所　麻布東鳥居坂町　小學校

辯士

▲列强の落伍者となる勿れ　日本禁酒會長　安藤太郎

▲社會改良の根本事業　婦人矯風會長　矢島楫子

▲國民の覺醒を促す　麻布青年會長　向軍治

▲國威發展の眞原因　廓清會長　島田三郎

主催　麻布青年會

配偶者問題は人間として最も大事な事でありますが、私の考へでは昔のやうに、當人が子供であつて親の考へと階級の釣合によつて結婚した時代は沙汰の限りでありますが、一個の人として生涯を如何にして暮すかといふ事になると配偶者か適當な人でなかつたならば、一生目的を貫く事が出來ません、其配偶者は自分の主義主張をまげられぬ見込のある人でなければ結構であります。それ以外のものを求めた時はあてが外れて仕舞ます。つまり之が配偶者選擇の中心となるのです。

然し日本の現今の教育の仕方でもつて、之をのぞむのはむづかしい事です。教育の遣り口を私の視察と聞いた處とによると、日本人と米國人は子供頃のから考へが異ふ。米國の子供には嘘をつかぬ事、大統領に從ふ事、職業に努める事の三ヶ條の教があつて之を基礎として世渡する事に定まつてゐます。簡單のやうであるが總ての事が之に關係して居ります日本の學校のやうに注入主義でなく眞個に胸に落ちその人自身が考へ働くやうに導いてゐます。

次に之等の子供が成長した時はどうでありませうか。私が先年紐育に行つた時は丁度選擧で不正派が多數を占めて居た際でしたが、それが一夜のうちに形勢變じ正義黨の勝利となつた。之は女子青年會の人々が活動した結果と聞き實に感嘆したのでございました。日本では近頃夫の爲親戚知己の爲奔走する婦人が可なりあらはれて來た樣ですが、廣い社會に乗り出し、自分の主義として活動する人が殆んど無いのを遺憾に思ひます。人間の眞個滿足は、自分の眞心が通された時であります。この眞心即ち自分の主義宗教に少しもそむく事のないやうな結婚であつたならば離婚問題などは起りませんでせう。前述の一點の通されたる結婚なれば其他の困難は如何やうに湧かうとも我慢が出來る筈でございます。

日本に於ける兒童教養の困難

女子高等師範學校附屬幼稚園主事
安井哲子

一、社會生活の不秩序と育兒上の影響

日本と西洋を比較して兒童の教養を論ずる人の中には、動もすれば日本人の育兒上の無智識とその不熱心とを笑ひ、その責任を家庭及び個人のみに歸せんとするものがありますが、私はこれは餘りに日本の社會狀態を考へない殘酷な言葉だと思ひます。それは勿論育兒上の智識に於いては多少西洋に讓る處はあるにしても、我兒を如何に養育すべきかと云ふ熱誠に於いては決して彼に一歩を讓るものではありません。自己よりより以上に優れた子孫を殘したいと云ふのは人間の本能性でありますから、誰しもこれに對しては深い注意を拂ひ研究を重ねたいのであります。現に吾國に於いても漸々この兒童研究が發達して來つゝある事は爭はれない事實であります。然しながら日本と西洋とは社會生活の狀態を異にして居りますから此處に育兒上の困難と不行屆を生ずるのであります。西洋のやうに社會生活の秩序が整然として居る國の育兒と日本のやうに社會生活の不秩序の國のそれとを比較してこれを同一に論ずるのは甚だ間違つた考へであります。例へば日本に於いては一般に時間的規律がないから日常の兒童教養上に少なからぬ影響を及ぼす事があります。即ちその一例を掲げれば日本人には一定の訪問時間の規律がないために朝晝晩の別なく何時にても自分の勝手に人を訪問する習慣があります。それ故に子供に對して一定の勉強時間を與へてこれを教へる妨げとなる事があります。それは相當に物質生活の餘裕のある家庭に在つては家庭教師とか或ひは書生とかを置き又は別に小供のみの召使を附する事が出來ますからそんな影響は蒙らないでありませうが、普通の家庭に在つては親自身が直接に一切の面倒を見るのでありますから非常に教養上に影響を及ぼすのであります。殊にこれからの婦人は或ひは社會的に或ひは夫を助けるためにこれまでの婦人より非常に仕事が多くなつて來たのでありますから子供に對しても專心に養育する事は出來ないのであります。從つて訪問などに依つてこれを妨げられる事は大なる苦痛であります。猶又日本に於いては種々な會合や講演會などが時間的秩序的でないため引いて家庭生活が秩序的にやつて行けないのであります。これ等も矢張り兒童の教育上に不便を齎し困難を感ぜしむる一因となるのであります。私はこれ等の點から考へて日本の兒童教養が西洋のそれと劣る所以を單に家庭の不注意育兒上の無智識のみに歸せずして一は社會生活の責任と見るのであります。社會生活をもつと秩序的規律的に改革しなければ

到底この困難は免れないのであります。

二、家族制度上に於ける育兒の困難

兒童教養に就いて日本と西洋とを同一に論ずるの不可は唯に社會狀態を異にすると云ふ點のみでなく、家族制度と個人制度の上にも困難の相違が表はれて居るのであります。西洋のやうに個人制度の國に於いては直接に親の意志を徹底せしめて理想的に子供を教へ導く事が出來ますけれども、日本のやうに老人とか兄弟姉妹とか種々な肉身の關係を以つて混雜して居る家庭に於ては、兒童を徹底的に親の意志に導いて養育する事は非常に困難であります。從つてその家に育つ兒童は種々な人の變つた意見に依つて養育せられるから完全な身體と精神を以つて發育する事は出來ないのであります。老人は老人他の兄弟は兄弟各自の主張通りに小供を導かんといたしますから其處に必然家庭内の衝突が起つて來ます。その衝突の上に育つ兒は完全なものとはならないのであります。猶又兩親は相當な智識を備へて居ても老人に對する尊敬や兄弟に對する遠慮のために知りながら面白くない養育をするものがあります。勿論老人を尊敬し兄弟互ひに敬虔の念を持つ事は、美しい人情でありますが、それがために大切なる兒童に不完全なる養育を爲す事は誠に痛心に堪へない處であります。これに就いて私の最も遺憾に思ふ事は世間の多くはよく老人と小供とを同視する事であります。そして子供と老人とを一對の好侶伴のやうに心得て居る事であります。こう云ふ無智の觀念からして小供に老人を附して置く人が澤山ありますが小供と老人とは全然その性格及び肉體が違ふのであります。之は誠に寒心すべき事であります。子供が活動的であるに反して老人は沈鬱でありますから子供に老人を附するのは子供の活動を束縛し子供を非活動的なものにして仕舞ふのであります。尙又老人が自分の肉體の觸覺をその儘小供に當て篏めて小供に無暗に厚着をさせるやうな事は肉體的に害であるは云ふまでもありません。要するに小供に老人を附する事は肉體上にも精神上にも甚だ不都合であります。こう云ふ點から觀ても家族制度上に於ける育兒が如何に困難であるかを知る事が出來ます。

三、使用人と小供の關係

西洋に於いては使用人と主人との關係は雇人と雇主との關係でありますが、日本に於ては主從の關係になつて居りますから殆んど使用人の自由とか權威とかゝ認められて居ないのであります。此處にも育兒上面白くない現象が起つて來るのであります。例へば召使などが小供に對する時にも矢張り主從の觀念がありますからから大人としての權威を以つて小供をしつけ°る°事が出來ないのであります。從つて小供を我儘なものにしたり非獨立的な精神にしたりするのであります。西洋などに於いては召使に一定の規則的方針を致へてありまして、その權限內に於いて召使は子供を教養するのでありますから、兩親の意志が徹底して理想的に小供を育てる事が出來るのであります。次に又多くの使用人を置く家庭に居りましては婦人などもそれ等の監督の方に忙しいから小供の方に除り注意が行き屆かないのであります。この場合兒童は多くの使用人の手に煩はされる事になりますから

精神のねぢけたものが出來るやうな事があります。西洋に於けるかやうな家庭に於いては、その使用人の中に區別を設けその小供の世話をするものを定めてありますから兩親の意志を裏切るやうな事はありません。日本にもこれ等の點が進んで來なければ完全なる兒童教養は出來ないと存じます。

日本に於ける育兒の困難はこれより外にも種々な原因がありませうが先づ大體は以上述べたやうなものであります。

然らばこれを如何に解決すべきかゝ問題となつて來ますが、此處に簡單にその二三を述べて見ますと。

四、改良の方策は如何

第一は社會生活全般の改良でありますが然しこれは容易な問題でありませんから先づ社會に秩序的時間的生活を實現すると云ふ事が必要であると思ひます。

第二は家庭内に於ける信仰上の統一であります。これは日本のやうな家族制度の國に在つては是非必要な事であります。混雜せる家庭内の人々が同じ社會觀人生觀を抱き同じ主張を持つやうになれば、其處に調和が出來るから兒童の教養を一定の主義の下に導く事が出來るのであります。

第三は兒童の保護者に對し育兒上の智識を與へ其他一般の教育を普及する事であります。日本の召使などは一般に教育の程度が低いのでありますから、之では立派に兒童を育てる能力はないと云はねばなりません。これに就いては婦人矯風會のやうな仕事も甚だ結構な事と存じます

猶又私どもの幼稚園に於いても時々小供の附添人を集めて有益な話を聞せて居ります。

渡米に就いての所感

牧師夫人　海老名みや子

私は幼い頃から米國とは特に親しい近しい關係を持つて居りまして、米人とも交際し或は米國の書物も讀み種々な話も聞いて居りましたが、此の度初めて渡米して實際に米國の事情を見聞して見ますと日本で思つて居たより隨分豫想外の事が多うございました。

何分米國は日本人及び支那人を初め世界人種の多く混入して居る處でありますから丁度世界の縮圖を見るやうな種々な生活の狀態を窺ふ事が出來ます。然しそれ程人種が混合して居ても其處には矢張り健全なる思想があつて凡てのものを米化して統一を保つやうになつて居ります

第一精神界の方面

に於いても十年前後の米國はニユーイングランドの氣風とは異り宗教の方でも淋びれて來たと云ふ話でありましたが今日の實際はそうではありません。私の行きました桑港などでも日本人及び支那人を除いた外人がニユーイングランド系統の人は極めて少くて、獨逸種、佛國種、伊太利種などが多うございますが其中に在つた教會などは實に盛んなものでありま

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

す。日曜などには殆んど二千餘の聽衆が堂に溢れて居ります。これを見ても米國が單に物質文明を追ふて居るばかりではなく又精神文明が並行して居る事が分ります。それから第二に私の感心したのは

若い婦人の活動

であります。勿論年の入つた婦人連も何々倶樂部とか種々な會を組織して働いて居りますが特に若い女子青年會の活動は目覺しいものであります。一例を掲げればカ洲のロスアンゼルスのYoung Women C三は合衆國一番の大きい宗教團體でありまして凡ての經營は女子の力に依つて運ばれて居ります。此處には食堂、集會所、學校、寄宿舍、休息場などの設備がありましてハイスクールを卒業したものや新らしい家庭生活に這入つたものが料理法、裁縫其他語學などを習ひに來るのであります。猶もう一つの館は社會の困難なる問題を解決する處であつて此處には最も熟練した頭のある婦人が置いてあります。そして婦人の一身上に起る種々な事情を處理して行くのであります。それから第三に婦人が

實生活上に智識を應用

して行く事であります。日本の婦人は學問をすれば自然に家庭を離れて行く傾向があります、向ふの婦人は學問を如何に家庭生活其他の實際上に使ふべきかに苦心して居るのであります。それでありますから臺所食堂の修繕は勿論家を造るのでも婦人自身が圖面を引いて立派なものを建築して行くのであります。又女中其他子弟の教育は皆んな婦人の任務として居ります。日本の婦人のやうに學問を一種の遊戯や結婚の道具に使はんとするものとは誠に雲泥の差があります。それから第四に私の感服いたしましたのは桑港に近頃十數ケ所の

禁酒街が出來

て居る事であります。カリホルニヤ洲全體では二十何ケ所の禁酒街があるさうですが、是れは申すまでもなく禁酒した人々の住んで居る處であります。これも矢張り婦人の感化に依つて造られたものだと云ふ話であります。此外避暑地などで多くの男女の集合する場所には大抵この禁酒の團體が出來て居るのであります。これに就いて面白い話がありますが、貨車などがこう云ふ街を通過する時に他の貨物の積んである室は明け放してあつても、酒類を積んだ室はその街の前を通過する際には必らず扉を締るさうであります。こう云ふ事はあまり形式過ぎたやうでありますが、これも矢張り禁酒を尊重すると云ふ意味からであつて、内容充實の發露に外ならぬのであります。

終りに米國にも物質文明に伴ふ種々な弊害があつて若い男女の誘惑になるやうなものも澤山あります。例へば五六軒每にレストラントがあつて美しい果物などを並べて如何にも人を魅するやうなものもあります、然しこう云ふ物質の中に精神的趣味を見出して居る者でありますからそこに面白い點があるのであります。

要するに米國は以上に述べたやうな種々な有益な團體があつて、一方に攪がる物質文明の弊を除き物心兩面の調和に努力して居るのであります。廓清會に於いても米國の禁酒街のやうな例に習ひ種々な社會の改善に努力せらる事と存じます折角の努力を祈ります。（文責記者）

伊藤秀吉氏編　娼妓自由廢業案內　金十二錢 郵稅とも

男女道徳の向上

東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生

藝妓の跋扈が大分烈しいやうですが、これは男子の需要があるからで、責めは寧ろ男子にあると申さねばなりませぬ。男子が女子を奴隷視し女子の人格を無視する思想の發現が、今日の藝妓たらしめたものであつて、今の藝妓は殆んど機械的になつてゐる。貞操の觀念や純潔の思想や、乃至婦人の本分とか自覺とか云つたやうな考へは露程も有つてゐませぬ。いやさういふ樣な考を持つ餘裕すらないかも知れませぬ。

趣味の低級な彼等には情夫の事以外には語るべき言葉も持たぬ。これから先はどうなる事やら、行末はどうしてよいやら、そんな事は一切ぬきにして今日はあなたの岸に咲く浮草の生活は、悲慘ともまた淺ましい限りです。

私は男子の方々が婦人に對する道德をもつと高めて頂かなくてはならぬと思ひます。婦人を物件視するやうな思想を改めて頂かなくてはならぬ、此頃は結婚の方式も大分異つて參りましたやうですがまだ〳〵眞實に女子の人格を認め、妻としての尊敬を拂ひ得らるゝ男子が幾人ございませう。勿論これは習慣から來たものでしやうけれども、女子自身の無氣力無自覺が一面の因たる事も爭ふべからざる事實です。今日の婦人に夫の境遇地位に同感し共鳴して、眞の慰籍を與へ得る者がありませうか、いや藝妓が與へる程の滿足すら與へ及ばないではありませんか。私は家庭に於ける婦人が今少し男子を理解し男子に同情して家庭の團欒を期するならば、男子が藝妓に戯むれるといふやうな事も少くなるであらうと思ひます。

私共は婦人に自覺を促して、婦人の地位は婦人自ら開拓するやうにしたいと思ひますと共に、廓清の問題は、もつと男子に及ぼして男子の貞操觀を高めて行つたならば、藝妓の要求が減じ、矢島老女史の叫ばれるやうな趣旨も必然に徹底して來ると存じます。けれ共それ等は積極的の漸進的の方面ですが、當面の風致問題としては、公娼全廢も無論贊成でございます。公娼を廢したら私娼の跋扈に困るであらうと難ずるものもございますが、私の平生の見解としましては、そんな事を恐れる必要はないと存じます。古への靑年は人の前にて彼の汚れた婦人を對手とする事を恥づべき事共何とも思はないで、婦人の前でも平氣で淫がはしい言葉を交へたものですが、それがいつの間にか道徳觀念が高まつて參りまして例外の人物を除きましては、人樣の前で醜業婦の噂や如何はしい話などせぬやうになつて參りました。これ等は廓清運動の無駄でない事を示す事實でありまして私はどうか男女の道徳觀念を同等にまで高め人類の幸福を進めん事を望みます

杜撰なる新聞記事に就て

救世軍大佐　山室軍平

大正四年十二月號の「廓清」に「幻滅の悲劇」といふ文章があり、其の一節に「救世軍人中に先達て泥棒した者があつた云々」といふ引き事がある。あれは素より日刊新聞の記事を信用して、其の儘かれたものに相違ないが、實は事實が全く相違して居る。何も此んな事を一々辯ずるにも及ばぬ樣だが、毎度似た樣な事が多い故、試みに此度の件に就て一言するのである。御承知の通り救世軍の慈善救濟部では年中、幾百人の落ちぶれた人逹を扱ふて居る。然るに百人が百人、殘らず世話のし甲斐があつて、幸福に又有用なる生活を營むやうになれば結構だが、どうも然うは參り兼ねる。之は私共の至らぬではあれど、亦實際止むを得ぬ所であることは、少しく斯かる方面の事情に通ずる人々の諒解せらるゝ所である。此度の事の如きも、一人の青年なる失業者の無宿者を氣の毒に思ひ、下谷愛隣館の受持士官が其の爲め就職の途など講ずるうち、彼が背き去つて或呉服屋で萬引をして捕へられたといふのが事件の大要である。すると新聞通信者が面白く記事を讀まする爲め、やれ救世軍の兵士がとか、軍服着用にて萬引をしたとか、二三十遍も入牢した男であつたとか、千三百圓からの大賊であつたとか、見て來た樣な假作談を附け加へて新聞社に報導し新聞社が復二號活字の見出などつけて之を掲げるといふ樣なことになつたものである。

東京の二三の大新聞では此ういふ時に一應電話で救世軍の本營に事の眞否を質し、或は記者を派遣して事件の眞相を慥かめられるから、さういふ間違はないやうだが、それ丈の面倒を見られぬ社は、全く好い加減な通信に誤られて、間違つた記事を大袈裟に掲げるやうなことになる。此ういふ事は毎度の經驗で、後から正誤は出しても、六號で欄外に小さく出たりなどしたのでは、十分前日の記事を正し得ないのは、申す迄もない。私は今の新聞記事の中に往々此ういふことがあるから、どうか今少し注意するやうになつて欲しいといふ希望を表白する爲にこれ丈のことを語り出でたのである。

それでは前の青年はどうなつたかと尋ねらるゝか。彼は素より救世軍の兵士でもなければ軍服など着て居る筈もなく、千三百圓盜んだのでも、亦數十回入牢した男でもなく、唯出來心で萬引をして直ぐ捕へられたのであるから、間もなく不起訴になつて歸つて來た。そこで救世軍では矢張今一度之を引取つて、今度こそ本統の眞人間にしたいものと、現に只今も骨を折つて居る所である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自由と煩悶と

東京歯科醫學專門學校學生監　水津千雲

自由といふことは、よく吾々人間社會國家社會で用ゐらるる語であるが、吾人人間は果して絶對的自由を有するか如何にといふと問題である。

全體人間といふものが、宇宙に對して唯の一人で居る場合は無論自由に違ひないが、苟くも社會を造り國家を組織して居る以上は、この宇宙對個人の絶對的自由は全く空想に終るのである。吾人個人が若し文學者や藝術家のやうに宇宙對個人の立場から見て自由を稱へるやうに、吾人人間が自由であつた日には、吾人の組織したる社會や國家は一日も平穩無事では居られない。常に波瀾曲折泣いて計り居らねばならぬ。一筋の途を獨りで進むには道の眞中を進むことが出來るか知らぬが若し二人なり三人なりで進むとすれば、今迄眞中を進んだ人も一歩を讓りて途の右なり左なりに寄らねばなるまい。吾人人間が獨り旅が出來ない今日の狀態では、勢ひ道の左方なり右方なりに寄らずばなるまい。この道理は誰れも否認するものはあるまいと思ふ。於茲吾人人間は社會的生活を生じ、社會的道德を生ずるので左方なり右方なりは個人同志の相談によるのである

實に吾人人間が社會を成し國家を形造る以上、如何に欲目に見ても絶對的自由は認められない。

文を學ぶ初めに於て文法を學んだり、レトリックを研めたりロヂックを聞いたりするときは、文は六ケ敷いこんな七六ケ敷い規則に拘泥された日には、自分の思想は發表が出來ないと思ふのは、恐らく文を學ぶもの丶第一に感ずることだと思ふ。所がグランマーも修辭學も論理學も少しなりとも解つて來ると、何々六ケ敷くてトテモ駄目だと匙を投げるが、よく〱それ等の規則が頭の中に這入り込むと、別に苦痛なく自由に自己の思想を言ひ表はすことが出來る、丁度このやうに人間界に居て社會的生活上に甚だ窮屈を感ずることがあるものだけれども、社會的法則が充分頭の中に入れば必ずや不自由を感ずることはなくなるものだ

それを充分研究せずして文學者だの藝術家だのは單に人間の研究すべき一部分の學問を研鑽して、直ちに不自由を感じ遂に社會的生活を無視し、甚だしきは世を呪ふが如き學者などが出現することは實に恐な話である。それも一分科の學問から這入つて人間を研究し了り、社會を知悉した藝術家や文學者もありはせうが、兎角學問が偏狭で總合的知識が足りないために、社會的方面の規範を破壊するものがあるばかりか、後進青年をして誘惑する者がある。藝術も文學も宗教も教育も、社會あり國家ありて初めて價値がある。

自由は宇宙といふ絶對界に對して認めることは出來ない、何所までも社會的の言辭に過ぎない、つまり比較した言辭である。吾人が社會的に不自由を感じたときの叫びに過ぎぬ、絶對世界に對しては自由がないが又不自由もないといつてよからう。或は自由の最極は不自由と一致するものだともいへるでせう。何語を代へて言へば自由といふことは程度の問題である故に吾人人間は先づ第一番に自由を叫ぶ前に於て人間社會を研究しなくてはならぬ。國家社會を知らなくてはならぬ。然る後に諸種の方面に研究の歩を進めなくてはならぬ。

近來無暗矢鱈に殺人や自殺が多く世間をして血腥き凄い風に滿さしむるのも、自由の意義を極めないからだ。即ち自由が出でたる社會や國家をよく解説しないからだ。局部的偏狭な智識から一種の迷信的思想に捕はれるからである。生活難だとか失戀だとか絶望怨恨とか所有罪惡が頻繁と行はれるのは眞の文明眞の理解がないからで、然かも吾人の組織して居る國家だの社會だのの觀念がないより起る現象だと思ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

新努力の二方面

廓清會江東分會幹事　家田作吉

吾人が、新年と共に廓清的努力を要すべき新方面多々ありと雖も、其重もなる二方面を擧ぐれば、工業會社に於ける男女職工の風紀問題と、市町村青年會との提携問題なりとす。夫れ晩近に於ける一般男工の教育程度を調査するに、區々にして一樣ならず、或る者は無教育にして或る者は義務教育を受くる者、又或る者は中學を卒業し或る者は最高の教育を終りて學位を受く、故に其の會社の上長たる者にして、之が訓練に教養をなすには幾多の困難あり、然るに女工は男工に比し、概して低級の教育に止まるを以て、比較的畫一の教養をなし易きも、兎に角此男女の一大團體が同一工場にありて、混然として其職に從事す、彼等に對して平等的に高尚なる理想を與へ、純潔なる德操を獎むるが如きは、至難事中の難事たり。

されど之を一面數字の上より考ふれば東京市内及附近の工業會社數のみにても其數幾千なるを知らず、而して男女職工數の如きも數千萬を以て數ふ、誰か之を重大なる社會問題たらずと云ふを得んや、若し夫れ是等多數の職工にして眞に靈妙なる純潔の意義を解し、高尚なる理想と方正なる品行を持し以て熱心誠意其業に從はゞ、其會社及職工自身の幸福如何斗りぞや、吾人は是等無數なる敬愛すべき男女職工及其指導者諸君に對し、我廓清會員は重大なる使命の存するを自覺し、此新しき年に於て此難問題を提げて大に奮勵努力せざるべからず。

又今日全國至る所の市町村に於て、青年會組織せられ、內務文部兩省及地方廳監督の下に活動しつゝあり。其或る者は殖林をなし、田畑の開墾をなし、或る者は圖書館を開き、夜學を興し、或る者は孝子忠僕貞婦の表獎をなす等種々の方面に活動しつゝありと雖も、要するに青年會存在の第一義は會員各自の人格の向上を圖るにあり、而して其向上は貞潔の德操に由りて完成せらる、然るに晩近一般男女青年の風紀頹敗し思想不健全にして淫靡惰弱殆んど云ふに忍びざるものありて浩歎の至りに堪へず、若し夫れ一外人にして、「日本帝國の青年を吾に示せ、吾此帝國の將來をトせん」と云ふ者あらば、實に慄然たらざらんと欲するも能はざるなり。

青年會と我が廓清會とは叙上の如く其最大なる目的を一にす。夫れ廓清會の友は老人壯者よりも寧ろ青年にあり、故に此青年の矯風及向上發展の爲めに大に盡瘁せざるべからず、我が廓清會は勿論一宗一派の機關にあらずして、純然たる社會公共的の事業たり、故に吾人の希望する所は、全國青年會の幹部諸氏が寬裕謙讓の精神を以て、我が廓清會の事業を贊け、青年の思想革新の爲めに、共に手を携へて奮勵努力せられん事を望むと共に、我が廓清會員諸君が此青年會の事業に對し滿腔の同情同感を有し之れが後援者たる覺悟を有せられん事を祈らざるを得ず

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會の破れ目

愼默生

◎怠け者の研究

近頃に至るまで、怠惰者は救濟せぬことが、慈善家の憲法であつた、近頃漸く社會學者は其の心理、經濟方面から研究を初めて見ると先づ第一何故に懶けるかといふに、懶け者の多くは賭博者に多いさうして犯罪者の怠惰は半分以上は心臟病及梅毒に原因すると云ふ事である。これは同情に價することである、伊太利の怠惰者はフエリニの研究によれば半分は純惰け者であるが、半分は然らずして寧ろ社會の負ふべき罪であるといふ。また宮城縣の貧民は六分の一は怠惰者であるが多くは遺傳的であるさうだ、此等は社會が貧民階級を侮辱する事と、職業を與へぬより後天的變質を來したものと見るを至當とする。

◎貰子殺しの問題

大阪市南區に三百九十四名の貰子がある、下谷萬年町は二百の貰子がある事實は、社會問題の重大事件である。併し乍ら之も亦北米知名の犯罪學者エリスが云ふ如く「嬰兒殺」は社會に罪を六分持たねばならぬ。貰子殺しを八年の懲役に處する前に市長は辭職するが正當である。と……嗚呼貰子の梅干顏よ……爾の生命は何人によりて救はれるかパロの王女よ、モーゼが流されてるではないか、あれナイルの鰐が來る！。

◎貧民授産事業の失敗

日本に於ける凡ての貧民授産事業は失敗である、獨國社會派の國立貧民授産場の失敗、米國三社會主義市の破産——凡て貧民の職業のために職業を製造してやる事業の破滅は高級文明の最大悲劇である要は先づ「貧民の心を製造」してやる事だ……然し之れでも矢張り悲劇は悲劇である。蟻に職業あり、蠅に糞がある、然し人間に職業なく神の子に糞が食へぬとは何たる矛盾ぞ。

◎日本の宗教家に告ぐ

宗教家よ……爾の隣を愛せよ、近頃僕は全國宗教家の戸々に乞食して廻つた世間師に會ふた、さうして其の日記を見て肅然として襟を正した。その乞食は宗教界の凡ての人格を批評して其の結論は宗教家が「世界苦」の何れにあるかを知らぬ！、と云ふことだ。貧民は奮鬪して居る、だから永刧眞面目だ、爾宗教家上流は閑だから懶ける。眞面目は神の眼だ、爾宗教家よ……歐洲の生命は三千年に渡つて貧民より湧いた事を忘れるな、宗教家よ爾の門に立つ乞食を如何にせんとする?！、知らずリヴアイヴアルは乞食にあるではあるまいか。

◎貧民窟の服

新刑法は貧民窟を征服した、然し、人間の心は征服し難い、賭博犯は一昨年より去年は一割の增加してゐる、之れは全體たれの罪であらう。

◎人間の不出來は死ね

倫敦の衛生局長にして化學者ウイリアムラムセイ氏の如きは極端な人種改良者であるが、彼れは凡て不出來な者は皆な死んだ方がよいと叫んで居る、機械文明の壓迫から夢さへ食ひ兼ねたり、或は「肉と靈」との煩悶に藻掻き悲しむ人は、何んと見たらよいであらうか、人間を土器人形と見られたでは情けないが、死ぬ事が出來れば幸ひである、死なうと思へば墓場から斷られ、生きようと思へば此の世から拒まれる！矢張り不出來はどう考へても不出來だ。

◎悲觀する勿れ

日本の喧嘩は減少したると著しい、十年前八千件の喧嘩が去年は三千五百に減退してゐる。之れは勞働者に自尊心が出來た兆である。乞ふ忘れざれ……彼れ等の自尊心を傷つけざる事を?、（四、十二、廿六、）

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

豐橋市の人道戰

木藤冷劍

□路傍傳道

編輯長足下、先月末より本月二日迄數日に亘り提灯に『熱血紅涙』と染め拔きたるを路傍に立てゝ、本會の主旨宣傳に努め居候處、靜岡縣引佐郡の會員に偶然邂逅し、相共に語り打合せ本日迄別紙を百三十餘枚頒布仕候、本日大正會の警告書を市內目貫きの處及湯屋等數十ヶ所へ貼付致置候、必ず効果現はるゝ事と存候。不肖微力なから過日の大波瀾後の苦しき中より多大の犧牲を拂ひて近く又幾分の主張の爲めに第二のトラクト製作に苦心致居候。且つ有志を募り豐橋に支部設立致度日夜寢食を忘れ之が奔走致し居候へば、何分共に御助力被下度候。(十二月三日)

□印刷物配付

編輯長足下、先に本會員は豐橋警察の非道暴戾を指彈せしが、叛軍凱歌の結果は彼等無告の奴隷をして愈々自廢の道なきものとして自暴自棄に陷る可きを歎じ、今回御大典大野戰より歸られたる、救世軍士官にして本會員たる中澤今治氏も奮起せられ、今夜あたり共に廓內に夜襲を試み、本會員が過日印刷せる『女郎衆に與ふる書』を頒布付る覺悟に候。今朝本部より送られたる『娼妓自由廢業案內』の廣告紙正に拜受、救世軍と協力して一大運動を開始致す可く候。本員は近々の內に額田郡岡崎町へも出張分會設立の考へ(岡崎には貸座敷五十餘軒、娼妓二百名あり)にて、昨日より岡崎の友人來り打合せ中に有之、硬骨なる新聞紙を利用して旗擧げの準備中に候。當地にては數百枚の印刷物配付に悪覺樓主は戰々兢々として『木藤冷劍は狂人なり』と申居候。本員は正義の爲めには狂人の名をも甘受するものに有之、飽迄奮戰仕るべく候。尙貼付の都合有之、過日の御大典運動の賛成者名印刷物(大正會の)一百枚、加藤博士著『教育家及婦人に告ぐ』二百枚右至急御送付願上候。本員は宅前に堂々看板を掲げて印刷物を通行人に示し居候。(十二月七日)

會報

□江東在住者懇談會

十二月十日午後七時、府下龜戶幼稚園に於て廓淸會江東在住者(本所深川方面)の第一回家庭的懇談會を開く、本部よりは松宮理事、伊藤理事、伊藤主事の諸氏出席せられ、元浪富平氏、家田作吉氏の兩君を幹事に推薦し、江東分會として、次回に於て具體的に會則等を定め、活動を開始する事とし、十一時散會したり。

□暴行! 遂に暴行!!

編輯長足下、別紙新聞記事に現はれたる如く、本會員の奮起に就て、大恐慌を起したる寬軍は、前便に申述べたる如く、本員を腕力を以て三業事務所に拉し去つて本員と猛烈なる談判をなしたりしが、警察の警戒によりて幸に其日は事なかりしも、其後大演說會開催の噂や、救世軍本營よりは山田大校來豊せんなどの噂とりどりにて、彼等の震駭一方ならず、一昨十六日夜本員が入浴の歸路を待受け、人なき場所に出でたる時、無法なる暴漢の襲擊に遭ひ、亂打の後堀中に突落され、更に上より散々暴行を加へ、本員の起つ能はざるを見て逃げ失せ候。暴漢は三名にて內一名は廓內一色樓の妓夫に有之負傷は左中指と後頭部半面の毆打傷にて、昨十七日午前二時交番所へ屆け置き、翌朝市內西入、中村醫院及鈴木醫院の診察を受け候處、幸に輕傷にて數日中には全快の豫定にて診斷書を作成し、筋に向けて告訴狀提出とも思ひしが、救世軍と打合せ今回は些少なれば猶豫し、再び暴行の際は告訴する事と致し候。然るに十六日午前四時警察署より若林高等刑事來訪、本會の主意及方法演說會の開催に就て非常なる同情を寄られ大に贊同して注意を與へられ候。(十二月十八日)

人道戰の御遭難に對し御同情に堪へず謹しんで御見舞申上ます(江南)

編輯の後

■會員相互の親睦團結を望む

廓清會が生れて既に滿五年になる。今年こそは驚天動地の一大飛躍を試みて見たいものではありませぬか、昨年の藝妓問題の運動も隨分目覺しいものがあつたが、何よりも大切な事は會員各自がもつと團結して頂き度い事である。會員が雜誌の購讀者に過ぎないやうな生温い態度を棄てゝ、自分の會であり、自分の育つべき責任のある會であるといふ風に自覺し、會員各自の團結が鞏固なものになつたならば、餘程面白い運動も出來るであらうし、有効な風紀廓淸の結果も生れるであらうと思ふ。醜業婦でさへも示威運動の行列などをやるのであるから、今年は我々も提灯行列の一大デモンストレーションを行つて見るのも面白いではあるまいか。

■會員は必ず同志の士を募れ

運動の成績を擧ぐる上からは、第一は團結の鞏固なる事であるが、其次は共團結の大なる事を要する。會員諸君は自已の周圍より必ず一二の同志者を見出して會員たらしめるの義務を負ふて頂き度い。入會以來一人の同志者を見出さぬといふが如きは、餘り冷淡ではあるまいかと思ふ。諸君にして眞に人道を愛し、正義に憧るゝの情があるならば、たゞ一人づゝの勸誘によつて忽ちにして本會は倍大する事が出來る、切に諸君の實行を望む。

■雜誌擴張に就て所見を問ふ

第三に御相談して見たいのは、現在の雜誌の改良意見である、記者一個の意見としては、現在の會費五錢では殆んど集金の手數などを加へると實費にも當らず運動の資金などは全く別の方面から求めなくてはならぬ狀態にあるのだから、之れは一層會費を一年一圓といふ事にして、雜誌をもう二十頁ばかり增加し、五十六頁乃至六十頁位のものとして、大に内容の發展を試みたらばどうだらうかと思ふ。本會を愛せらるゝ諸君は奮つて此れに對し賛否の意見を寄せて頂き度い、それによつて記者は役員會の議題として正式に研究を遂げ何れとも決定する事にしたい積りである。（江南生）

■廓淸會會則摘要

一、本會の目的は男女間に貞潔の德操を奬め家庭を純潔にし社會の風紀を廓淸し人生の幸福を增進するにあり

而して公娼制度は此目的に反する惡制度なるが故に全廢を期す

二、本會は其目的を逹せんが爲め左の事業を爲す

(一)公娼問題に對する各方面の研究調査

(二)公娼廢止の善後策を研究すると

(三)藝妓酌婦其他類似の稼業者に關する調査改善

(四)蓄妾、私通、姦通、結婚、離婚等に關する調査改善

(五)婦人問題、貞操問題に對する現狀、及思想の研究指導

(六)娼妓其他醜業婦の救濟

(七)公開演說會を開催すると

(八)每月一回『廓淸』と題する雜誌を發行すること

(九)時々適當の出版をなすと

三、本會に入會せんと欲するものは男女を問はず住所、職業、氏名、年齡、を記し本部に申込むべし

四、會員を分つて賛助會員、正會員の二とす

但賛助會員は必ず口數明記のと

(一)賛助會員とは金二十五錢を一口として、每月一口以上の維持費を納むるもの

(二)正會員とは每月金五錢づゝの會費を納むもの

五、會員には總て機關雜誌『廓淸』を每號無代にて配付す

▼會費の納入

從來會費はすべて前金に納入せらるべき筈なるに滯納の向少からざるは遺憾也僅少なる金額の事故なるべく督促を受くる事なきやう御注意相成り度し

・振替東京二七〇七二番

▼會員の轉居

通知の際は必ず新舊兩住所を併記せらる可し。

▼投稿の歡迎

公娼私娼の問題、婦人問題、或は風紀の爲めに奮鬪したる人の逸話等、或は熱血紅涙的の短文其他何にても可なり、會員諸君の投書寄稿を歡迎す。

廓淸會本部

（每月一回一日發行）
大正四年十二月廿六日納本　一部定價金六錢
大正五年一月一日發行

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　神田區三崎町三丁目一番地　上村龍之助
印刷所　神田區三崎町三丁目一番地　博信堂印刷所
發行所　芝區三田四國町二番地廓淸會　廓淸發行所